

Ⅱ 履修の手引き

Ⅰ 大・学修の手引き

Ⅱ 大・履修の手引き

Ⅲ 学籍について

Ⅳ 子ども発達教育専攻科
学修・履修の手引き

大学院

1 履修の方法について

(1) 本学の 教育課程

私立大学には創設者の建学の理想があります。本学では、その理想を実現するためディプロマ・ポリシーを定め、それに基づき、それぞれの学科・コースのディプロマ・ポリシーを設定して、特色ある教育活動を行っています。

それぞれの学科・コースでは、上記のディプロマ・ポリシーを達成するためにさまざまな授業科目を開講しており、また、授業科目を段階的・系統的に分類し整理した教育課程(カリキュラム)を作成しています。

本学の教育課程は、学修の区分として①「共通教育」科目、②「専門教育」科目が設定されています。学生は、それぞれの区分にわたって、定められた数の単位を履修して、卒業に必要な単位(卒業要件単位)を充足しなければなりません。これを一覧表にしてまとめて示したものが教育課程表です。

(2) 共通教育科目

共通教育科目は、「比治山ベーシック科目」と「教養教育科目」とで編成されています。教育課程表に基づいて履修してください。

「比治山ベーシック科目」

「スタートアップ」「キャリア形成」「コミュニケーションリテラシー（日本語・外国語・情報）」の3分野からなり、本学の卒業生として一定水準のスキルや能力を身に付けることをねらいとする科目が設定されています。分野ごとに必修科目と選択科目とに分けられていますので留意してください。

「教養教育科目」

教養教育科目は、幅広い分野にまたがる内容をPBL(課題解決型学習)形式を中心とした方法により実践的に学ぶ文理融合型の「学際総合科目」、さまざまな学問分野を横断的に学ぶことで自らの好奇心を掘り起こし、社会と積極的に関わるための多様な視点を獲得するための「教養科目」、および教員免許状・保育士資格等の取得のための「資格関係科目」で構成されています。

領域ごとに履修すべき単位数が定められています。

履修に当たっては、その科目構成や開講時期を理解した上で、自己の学修にとって有益となるようによく考えて選択してください。

また、授業科目によっては、履修定員が定められている科目(事前登録科目)があり、履修定員を超えた場合は、コンピュータによる抽選を行うことがあります。

(3) 専門教育科目

専門教育科目は、各学科の教育目的に基づき、段階的・系統的に構成された科目群で、専門的学術性の高い科目を集約的に履修できるよう設置されています。専門教育科目の履修は、ほぼ年次ごとに配当された科目を、規定に従って計画的に選択することになります。各学科・コースごとに特色がありますので、履修の具体的方法については、この『学生便覧』に記載されている「各学科の卒業に必要な単位数」や「教育課程表」で確認してください。

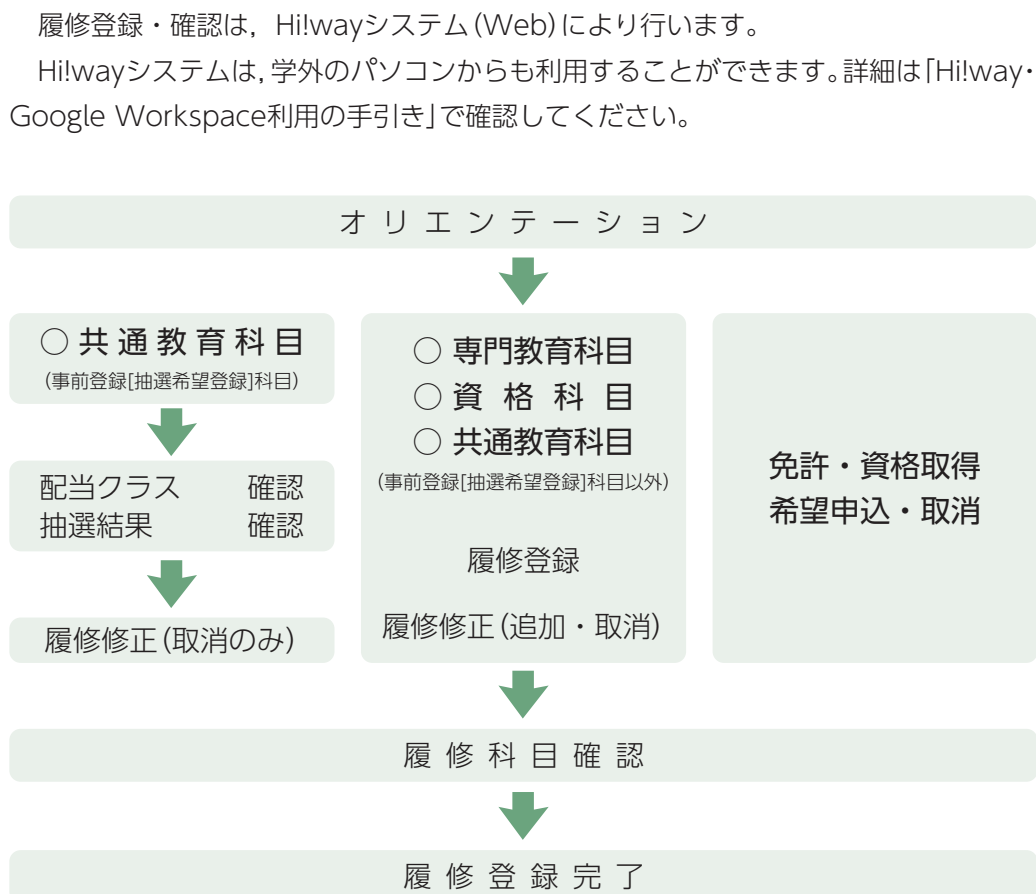
(4) 他学部・他学科科目等

他学部・他学科の専門教育科目，教職課程に関連する科目，学芸員資格科目，比治山大学短期大学部単位互換科目，教育ネットワーク中国加盟の大学，短期大学との単位互換科目，HOPE (Hijiyama Overseas Program & Experience) 科目を一定の条件の下に履修することができます。

ただし，保育士資格，幼稚園一種免許状，小学校一種免許状，学校図書館司書教諭の資格科目は，資格取得が可能な学科の学生のみ履修することができます。詳細は，「免許・資格について」で確認してください。

2 履修登録について

(1) 履修登録の流れ



(2) 履修登録の制限

- 履修登録できる単位数は、各学期24単位を上限とします。
なお、卒業年次生で80単位以上単位を修得している者、および編入生は各学期30単位を上限とします。
- 他大学との単位互換科目については、履修登録の上限を超えて履修できます。
- 2年次前期以降、前学期のGPAが3.0以上の場合、30単位まで履修登録ができます。
- 現代文化学部卒の卒業論文の履修登録は、原則として、3年以上在学し、卒業に必要な単位を80単位以上修得していなければなりません。
- 健康栄養学部の地域課題研究Ⅰの履修登録は、2年次後期までの必修科目をすべて履修していなければなりません。

(3) 履修登録

履修登録については、オリエンテーションで各学科の教学委員から説明があります。履修登録はHi!wayシステムにより行います。詳細については「履修の手引き」を参照してください。

(4) 再履修

指定されたセメスターに単位が修得できなかった場合は、次のセメスター以降に再び授業科目を履修することができます。これを再履修といいます。

3 教育課程 (カリキュラム・カリキュラムマップ・ナンバリング) について

(1) 共通教育科目

I. 比治山ベーシック科目について

「比治山ベーシック科目」は、本学の卒業生として一定水準のスキルや能力を身に付けることをねらいとしています。

(1) スタートアップ

高校から大学へ、生徒から学生へ、「学び」の円滑な移行を意図しています。そのために、(1)建学の精神や教育理念を理解し、学生同士あるいは学生と教員との信頼関係を築きながら本学で学ぶ意欲を持つこと、(2)大学で学ぶための学修の基礎的な技術・方法を身に付けること、(3)卒業後の就職あるいは進学への意識を高めることを目的としています。

(2) キャリア形成

「一人の人間として人生をいかに生きるか」という生涯にわたる人生設計を考えることを目的としています。一人ひとりが自分の将来を視野に入れ、社会人として活躍するための目標を設定します。個人ワークやグループワークを通し自己理解を深めながら、自発的に卒業後の進路を選択し、社会的に自立できる力を育みます。

(3) コミュニケーションリテラシー

リテラシーとは、「読み書き能力」という意味です。急速な情報化、国際化を特徴とする現代社会においては、従来の「言語」によるリテラシーは当然ながら、コンピュータを中心とした情報機器を活用するためのリテラシーが求められています。本学では、「日本語」「外国語」「情報」の3つのスキルを「コミュニケーションリテラシー」と位置付けて、大学や社会で通用する水準まで＜読む＞＜書く＞＜聞く＞＜話す＞能力を高めることを目指します。

①日本語

現代社会の一員として必要とされる日本語能力を確実に身に付けることを目的としています。少人数の演習形式により、日本語表現の基本的な知識を学ぶとともに、小論文やレポートなどの文章表現、スピーチや発表、ディスカッションなどの口頭表現の基本を学びます。「日本語リテラシー」(1年前期)を必修科目として、その習熟度や学修の必要性に応じてきめ細かく指導を行います。

②外国語

国際化の進む現代社会の一員として、自発的かつ創造的に外国語を運用できる能力の育成を目的としています。英語では、習熟度別クラス編成により、英語の基礎的な能力を身に付けます。「英語リテラシー」(1年前期)を必修科目として、学修の必要性に応じてきめ細かく指導を行います。さらに、英会話ではネイティブを中心としたスタッフによって実践的な英語力を高めます。また、中国語と韓国語では、基礎的な運用能力養成に加えて、文化的な側面の学修など、国際社会で求められる知識を養います。

③情報

本学の情報利用環境になじみ、授業や自学自習・資格取得のために必要な情報活用能力を身に付けます。「情報リテラシー」(1年前期)および「データサイエンス入門」(1年後期)を必修科目として、「情報収集力」や「論理的思考力」などを一定レベルまで高める学修プログラムによって、大学生活でそして社会人になっても不可欠な情報関連の基礎技能を修得します。

II. 教養教育科目について

教養教育科目は、分野・学科を超えた学びで人間力を高め、特定の分野に偏らない広い視野を持った人材を育成することを目的としています。大学・短期大学部の教員が授業を担当していますので、学科の枠および専門分野を超えて学修できます。

教養教育科目は、「学際総合科目」、「教養科目」、および「資格関係科目」で構成されています。

教養教育科目の特色は、次のようにまとめられます。

- (1)「学際総合科目」は、幅広い分野にまたがる内容をPBL(課題解決型学習)形式を中心とした方法により実践的に学ぶ文理融合型の科目です。オムニバス方式やチームティーチングなどによって、専門分野の異なる複数の教員が多方面からアプローチします。
- (2)「教養科目」は、それぞれの学問分野における学びの喜び・楽しさへの導入とともに、他の分野とのつながりを意識しつつさまざまな学問分野を横断的に学ぶことで、自らの好奇心を掘り起こし、社会と積極的に関わるための多様な視点を獲得することをめざす科目です。
- (3)「資格関係科目」は、教員免許状・保育士資格等の取得に必要な科目です。
- (4)いずれもアクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)を重視し、学生が主体的に参画できる学生参加・体験型の授業方法を積極的に導入しています。学びの場も、教室だけに限らず、大学の外へ飛び出して、施設見学、制作・創作活動、フィールドワークなどを行います。
- (5)大学生・短大生がともに学び合い、学部・学科を超えた多様な考え方との対話を通して自身の興味・関心を掘り下げることができます。また、現代社会との接点を意識し、生涯にわたって学び続けるための基盤とすることをめざします。

(1) 共通教育科目 現代文化学部 教育課程表

<2025年度入学生>

授業科目 区分		授業科目	授業 方法	授業 すべき 時間数	主要 授業 科目	単位数		開講時期								卒業要件		
						必修	選択	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
比治山ベ ーシック科目	スタート アップ	初年次セミナーⅠ	演習	30	○	2		○								必修 4 単位		
		初年次セミナーⅡ	演習	30	○	2			○									
	キャリア形 成	キャリアデザイン入門	講義	30	○	2				○						必修 2 単位以上		
		インターンシップ A	実習	45			1			○								
		インターンシップ B	実習	90			2			○								
		キャリア研究	演習	30			2				○							
	外国語 コミュニ ケーショ ンリテラ シー	日本語	日本語リテラシー	演習	30	○	1		○							必修 2 単位		
			日本語表現	演習	30	○	1			○								
		英語	英語リテラシー	演習	60	○	2		○								言語文化学科及び子 ども発達教育学科は、必 修 2 単位を含め、 4 単位以上 マスコミュニケー ション学科及び社 会臨床心理学科は、 必修 2 単位以上	
			英語Ⅰ	演習	60			2		○								
			英語Ⅱ	演習	30			1			○							
			英語Ⅲ	演習	30			1				○						
			英会話Ⅰ	演習	30			1	○									
			英会話Ⅱ	演習	30			1		○								
			中国語Ⅰ	演習	30			1	○									
			中国語Ⅱ	演習	30			1		○								
			韓国語Ⅰ	演習	30			1	○									
			韓国語Ⅱ	演習	30			1		○								
		情報	情報リテラシー	演習	30	○	1		○								必修 3 単位以上	
			データサイエンス入門	演習	30	○	2			○								
	データサイエンス演習		演習	30			2		○									
プログラミング基礎	演習		30			2			○									
教養教育科目	学際 総合	人間と生命（比治山学）	講義	30	○	2		*	*							必修 2 単位を含め、 6 単位以上		
		ひろしま学	講義	30			2	*	*									
		複合領域研究	講義	60			4				*							
	教養 科目	言語学	講義	30			2	*	*									
		文学	講義	30			2	*	*									
		歴史学	講義	30			2	*	*									
		哲学	講義	30			2	*	*									
		芸術学	講義	30			2	*	*									
		教育学	講義	30			2	*	*									
		経営学	講義	30			2	*	*									
		社会学	講義	30			2	*	*									
		観光学	講義	30			2	*	*									
		心理学	講義	30			2	*	*									
		保健学	講義	30			2	*	*									
		生理学	講義	30			2	*	*									
		栄養学	講義	30			2	*	*									
		資格 関係	日本国憲法	講義	30			2	*			*						
			ウエルネス論	講義	30			2		*		*						
	スポーツ		実技	30			1	*	*									

24
単位
以上

開講時期の○印は、その学期に開講する科目を示しています。
 開講学期の*印の授業科目はオリエンテーションの履修指導、時間割等で確認してください。
 履修条件については、「履修の手引き」で確認してください。

卒業に必要な
単位数

共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修 4 単位	24 単位 以上
		キャリア形成		必修 2 単位以上	
		コミュニケーション リテラシー	日本語	必修 2 単位	
			外国語	言語文化学科・子ども発達教育学科 必修 2 単位を含め、 4 単位以上 マスコミュニケーション学科・ 社会臨床心理学科 必修 2 単位以上	
			情 報	必修 3 単位以上	
	教養教育科目	学際総合科目		必修 2 単位を含め、 6 単位以上	
		教養科目			
		資格関係科目			

I 大・学修の手引き

II 大・履修の手引き

III 学籍について

IV 子ども発達教育専攻科
学修・履修の手引き

大学院

(2) 専門教育科目 現代文化学部 言語文化学科日本語文化コース 教育課程表

<2025年度入学生>

科目区分		授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主授科目	単位数		提供科目	開 講 時 期								卒業要件		
						必修	選択		1 年		2 年		3 年		4 年				
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎	入門	日本語学入門	講義	30	○		2		○								4 単位以上	計 74 単位以上	
		日本文学入門	講義	30	○		2		○										
		日本歴史文化入門	講義	30	○		2		○										
		言語学入門	講義	30	○		2		○										
		英米文学入門	講義	30	○		2		○										
		異文化理解入門	講義	30	○		2		○										
	概論	日本語学概論	講義	30	○		2			○							8 単位以上		
		日本文学概論	講義	30	○		2			○									
		日本歴史文化概論	講義	30	○		2			○									
		英語学概論	講義	30	○		2			○									
		米文学概論	講義	30	○		2			○									
		英文学概論	講義	30	○		2			○									
発展	日本語学	日本語研究 A	講義	30	○		2	☆			○						24 単位以上		
		日本語研究 B	講義	30	○		2	☆				○							
		日本語史	講義	30	○		2	☆					○						
		日本語表現法 A	演習	30			2	☆			○								
		日本語表現法 B	演習	30			2	☆				○							
		日本語表現研究	講義	30			2	☆						○					
	日本文学	日本文学研究 A	講義	30	○		2	☆			○								
		日本文学研究 B	講義	30	○		2	☆			○								
		日本文学研究 C	講義	30	○		2	☆				○							
		日本文学研究 D	講義	30	○		2	☆				○							
		日本文学史	講義	30			2	☆					○						
		日本映画文化論	講義	30			2	☆						○					
		漢文学	講義	30			2	☆					○						
	日本歴史文化	地域の文化と歴史	講義	30	○		2	☆			○								
		日本考古学	講義	30			2	☆				○							
		日本民俗学	講義	30			2	☆					○						
		演劇・芸能研究	講義	30			2	☆						○					
		日本の伝統文化	講義	30			2	☆							○				
		日本語文化研修	演習	30			2							*					
	表現・創作	書道 A	演習	30			2				○								
		書道 B	演習	30			2					○							
		創作論	講義	30			2	☆				○							
		創作演習Ⅰ	演習	30			2						○					ステップ履修	
		創作演習Ⅱ	演習	30			2							○					
		創作演習Ⅲ	演習	30			2								○				
		創作演習Ⅳ	演習	30			2									○			
		国語科教育	国語科教育法Ⅰ	講義	30			2				○							ステップ履修
	国語科教育法Ⅱ		講義	30			2					○							
	国語科教育法Ⅲ		講義	30			2						○						
	国語科教育法Ⅳ		講義	30			2							○					
	演習	基礎ゼミナールⅠ	演習	30	○	2					○							必修 4 単位 を含め 6 単位以上	
		基礎ゼミナールⅡ	演習	30	○	2						○							
		日本語学演習	演習	30	○		2						○						
		日本文学演習	演習	30	○		2							○					
		日本歴史文化演習	演習	30	○		2							○					
言語文化共通	社会言語学	講義	30			2					○					* 次ページ			
	対照言語学	講義	30			2	☆					○							
	日本文学講読 A	講義	30			2		○											
	日本文学講読 B	講義	30			2	☆		○										
	日本児童文学	講義	30			2	☆			○									
	日本文化史Ⅰ	講義	30	○		2	☆	○											
	日本文化史Ⅱ	講義	30	○		2	☆		○										
	日本のポップカルチャー	講義	30			2			○										
	英米音楽文化論	講義	30			2			○										
	日英比較文化	講義	30			2	☆			○									
	Basic Communication SkillsⅠ	演習	30			2	☆	○											

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主要科目	単位数		提供科目	開 講 時 期								卒業要件
					必修	選択		1 年		2 年		3 年		4 年		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
言語文化共通	Basic Communication SkillsⅡ	演習	30			2	☆		○							8 単位以上
	異文化間コミュニケーションⅠ	演習	30	○		2	☆	*								
	異文化間コミュニケーションⅡ	演習	30	○		2	☆	*								
	異文化間コミュニケーションⅢ	演習	60	○		4	☆	*								
	異文化間コミュニケーションⅣ	演習	90	○		6				*						
	日本語教育概論Ⅰ	講義	30			2	☆			○						
	日本語教育概論Ⅱ	講義	30			2	☆				○					
	日本語教授法	講義	30			2	☆					○				
	日本語教材研究	講義	30			2	☆						○			
	日本語教育実習	演習	30			2	☆					*				
第二言語習得概論	講義	30			2					○						
特別研究	特別研究Ⅰ	演習		○	2								○			必修 6 単位
	特別研究Ⅱ	演習		○	2									○		
	特別研究Ⅲ	演習		○	2										○	
卒業論文	卒業論文			○	4									○	必修 4 単位	

計 74 単位以上

計 74 単位以上

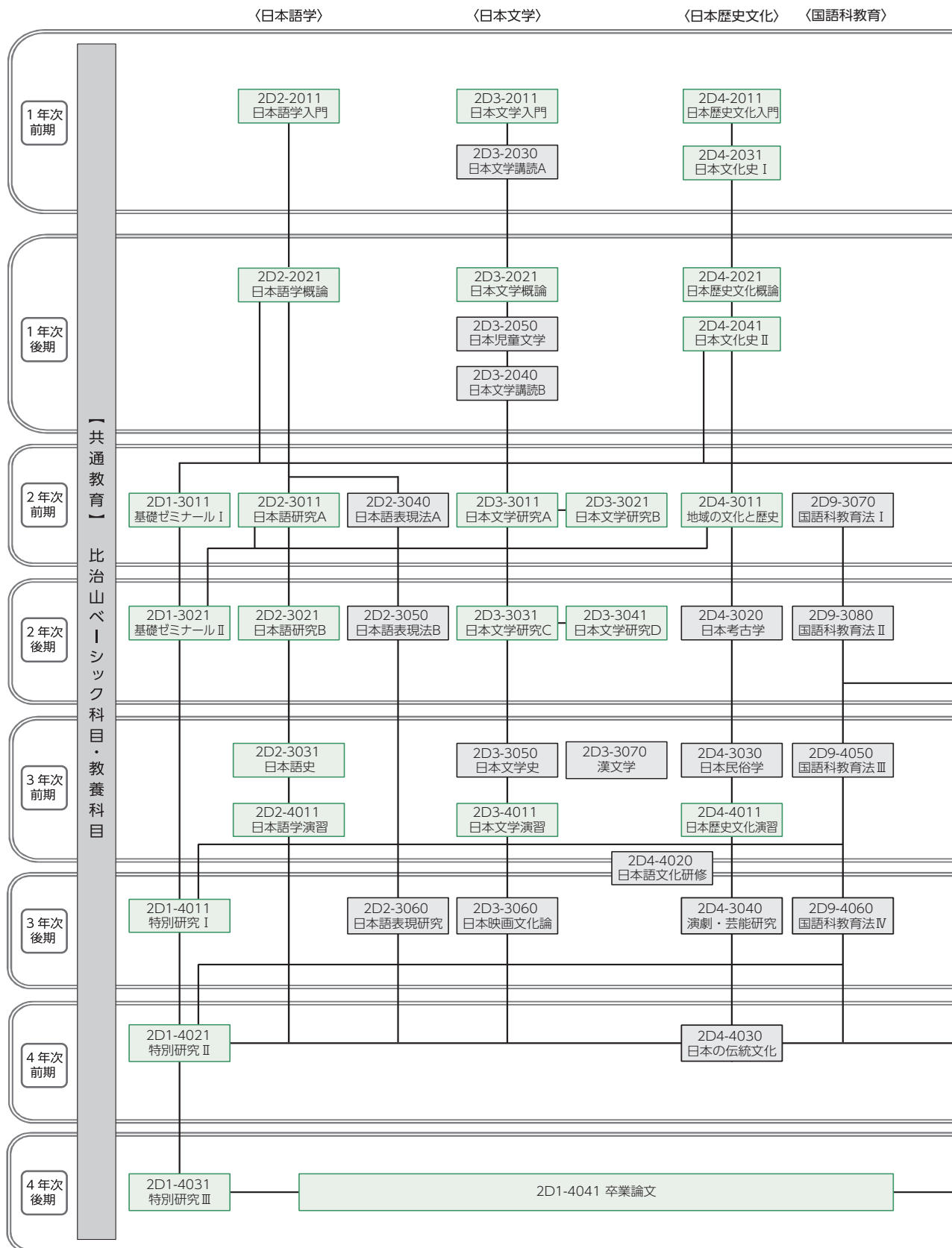
☆は、言語文化学科 国際コミュニケーションコース、マスコミュニケーション学科、社会臨床心理学科、子ども発達教育学科、健康栄養学部への提供科目です。

※選択必修 「日本語学演習」「日本文学演習」「日本歴史文化演習」のうち、いずれか 1 科目選択必修

卒業に必要な単位数

学科コース		言語文化学科日本語文化コース				
授業科目区分						
共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修 4 単位		24単位 以上
		キャリア形成		必修 2 単位以上		
		コミュニケーション リテラシー	日本語	必修 2 単位		
			外国語	必修 2 単位を含め、 4 単位以上		
			情 報	必修 3 単位以上		
	教養教育科目	学際総合科目		必修 2 単位を含め、 6 単位以上		
		教養科目				
		資格関係科目				
専門教育科目	基礎		8 単位以上		70単位 以上	
	発展		24単位以上			
	言語文化共通		8 単位以上			
	特別研究		6 単位			
卒業論文		4 単位				
計		124単位※				

※他学部・他学科・他コースが提供している専門教育科目、教職課程に関連する科目、学芸員資格科目、学校図書館司書教諭資格科目、短期大学部単位互換科目、教育ネットワーク中国との単位互換科目、交換留学プログラムの修得単位は、卒業要件単位に含まれます。

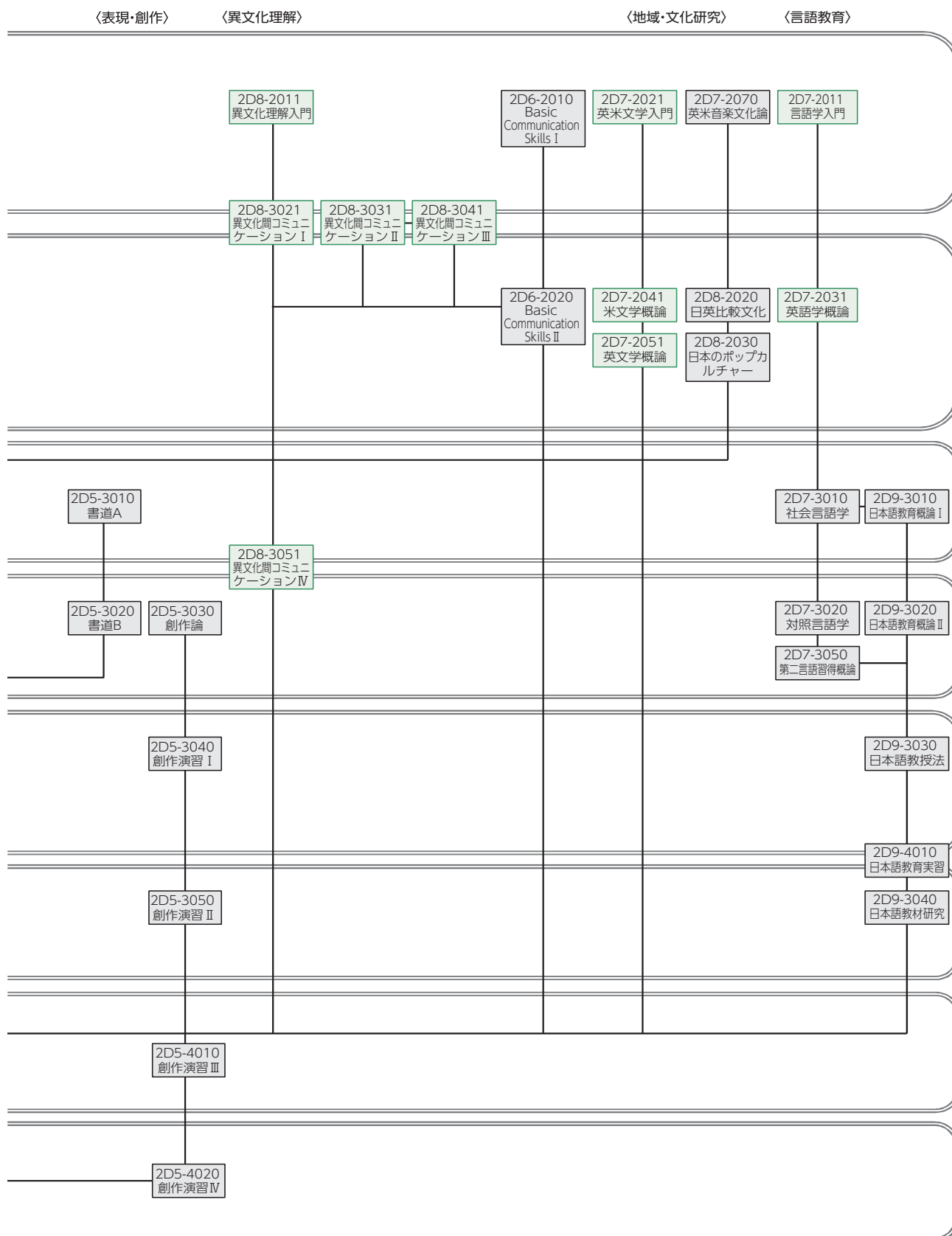


比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

ナンバリングのコード規則

(例) 2 D2 - 2 01 1 「日本語学入門」
 [学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [主要授業科目]

主要授業科目

ナンバリング
各コードの詳細

〔学部番号〕

2 大学

〔学問分野〕

D1	言語文化コア科目(基礎科目・特別研究などの必修系)
D2	日本語学
D3	日本文学
D4	日本歴史文化
D5	表現・創作
D6	国際コミュニケーションスキルズ
D7	地域・文化研究
D8	異文化理解
D9	国語科教育・英語科教育・日本語教育

〔難易度〕

1	レベル 1 共通教育
2	レベル 2 基礎
3	レベル 3 専門
4	レベル 4 発展
5	レベル 5 専攻科
6	レベル 6 大学院

〔通し番号〕

01 順次

〔主要授業科目〕

1	主要授業科目
0	主要授業科目以外

(3) 専門教育科目 現代文化学部 言語文化学科国際コミュニケーションコース 教育課程表

<2025年度入学生>

科目区分		授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主授科目	単位数		提供科目	副専攻	開講時期								卒業要件		
						必修	選択			1年		2年		3年		4年				
										前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎	入門	日本語学入門	講義	30	○		2			○							4単位以上			
		日本文学入門	講義	30	○		2			○										
		日本歴史文化入門	講義	30	○		2			○										
		言語学入門	講義	30	○		2			○										
		英米文学入門	講義	30	○		2			○										
	概論	異文化理解入門	講義	30	○		2			○							8単位以上			
		日本語学概論	講義	30	○		2				○									
		日本文学概論	講義	30	○		2				○									
		日本歴史文化概論	講義	30	○		2				○									
		英語学概論	講義	30	○		2				○									
発展	異文化理解	米文学概論	講義	30	○		2				○						必修6単位			
		異文化理解研究Ⅰ	演習	30	○	2					○									
		異文化理解研究Ⅱ	演習	30	○	2						○								
	国際コミュニケーションスキルズ	異文化理解実践研究	演習	30	○	2							○				必修6単位を含め 16単位以上			
		英語コミュニケーションⅠ	演習	30			2	☆	★			○								
		英語コミュニケーションⅡ	演習	30			2	☆	★				○							
		英語コミュニケーションⅢ	演習	30			2	☆	★					○						
		英語コミュニケーションⅣ	演習	30			2	☆	★						○					
		中国語コミュニケーションⅠ	演習	30			2					○								
		中国語コミュニケーションⅡ	演習	30			2						○							
		韓国語コミュニケーションⅠ	演習	30			2					○								
		韓国語コミュニケーションⅡ	演習	30			2						○							
		検定英語	演習	30			2	☆	★			○								
		検定中国語	演習	30			2							○						
		検定韓国語	演習	30			2							○						
		Presentation Skills	演習	30			2	☆	★					○						
		Critical Thinking and Discussion	演習	30			2	☆	★						○					
	Functional Expressions	演習	30			2	☆	★						○						
	地域・文化研究	Japan Studies	講義	30			2						○				Ⅰ～Ⅳ ステップ履修			
		アジア文化論	講義	30			2	☆							○					
		アジア地域研究	講義	30			2									○				
		欧米文化論	講義	30			2	☆							○					
		欧米地域研究	講義	30			2									○				
		英米映画文化論	講義	30			2						○							
		翻訳文化研究	講義	30			2								○					
		英米文学講読	講義	30			2									○				
		英語の歴史	講義	30			2							○						
		英語教授法	講義	30			2												○	
		英語科教育法Ⅰ	講義	30			2					○								
		英語科教育法Ⅱ	講義	30			2						○							
		英語科教育法Ⅲ	講義	30			2							○						
英語科教育法Ⅳ		講義	30			2								○						
言語文化共通	社会言語学	講義	30			2						○				8単位以上				
	対照言語学	講義	30			2	☆						○							
	日本文学講読A	講義	30			2				○										
	日本文学講読B	講義	30			2	☆				○									
	日本児童文学	講義	30			2	☆				○									
	日本文化史Ⅰ	講義	30	○		2	☆		○											
	日本文化史Ⅱ	講義	30	○		2	☆			○										
	日本のポップカルチャー	講義	30			2					○									
	英米音楽文化論	講義	30			2				○										
	日英比較文化	講義	30			2	☆				○									
	Basic Communication SkillsⅠ	演習	30			2	☆	★	○											
	Basic Communication SkillsⅡ	演習	30			2	☆	★			○									
	異文化間コミュニケーションⅠ	演習	30	○		2	☆	★	*											
	異文化間コミュニケーションⅡ	演習	30	○		2	☆	★	*											
	異文化間コミュニケーションⅢ	演習	60	○		4	☆	★	*											
	異文化間コミュニケーションⅣ	演習	90	○		6						*								
	日本語教育概論Ⅰ	講義	30			2	☆					○								
	日本語教育概論Ⅱ	講義	30			2	☆						○							
	日本語教授法	講義	30			2	☆							○						
	日本語教材研究	講義	30			2	☆								○					
	日本語教育実習	演習	30			2	☆								*					
	第二言語習得概論	講義	30			2						○								

計 74 単位以上

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主要科目	単位数		提供科目	副専攻	開 講 時 期								卒業要件	
					必修	選択			1 年		2年		3年		4年			
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
特別研究	特別研究Ⅰ	演習	30	○	2									○			必修 6 単位	計 74 単位 以上
	特別研究Ⅱ	演習	30	○	2									○				
	特別研究Ⅲ	演習	30	○	2										○			
卒業論文	卒業論文	演習		○	4										○		必修 4 単位	

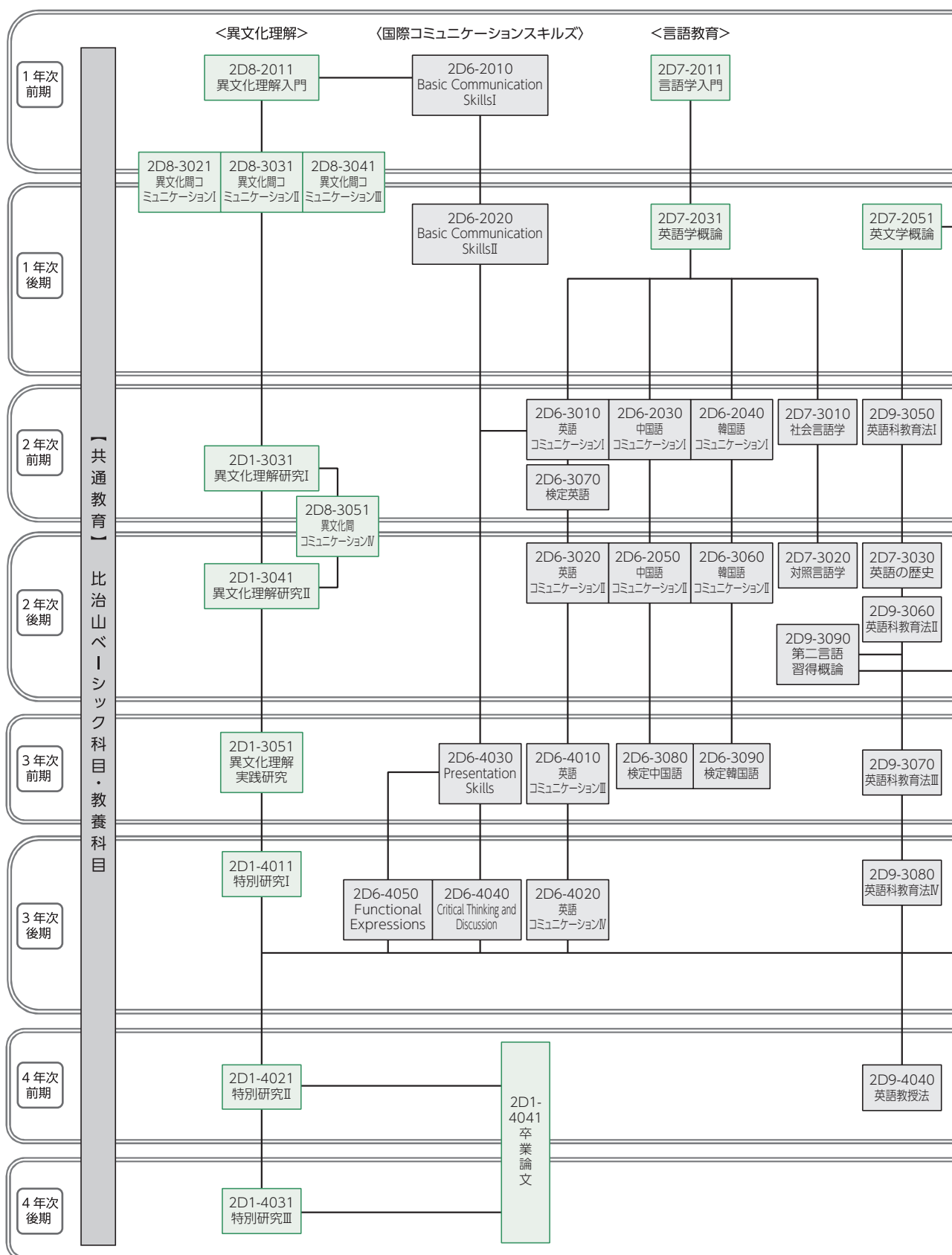
☆は、言語文化学科 日本語文化コース、マスコミュニケーション学科、社会臨床心理学科、子ども発達教育学科、健康栄養学部への提供科目です。

★は、言語文化学科 日本語文化コース、マスコミュニケーション学科、社会臨床心理学科、子ども発達教育学科の副専攻科目です。

卒業に必要な単位数

学科コース		言語文化学科国際コミュニケーションコース				
授業科目区分						
共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修 4 単位		24単位以上
		キャリア形成		必修 2 単位以上		
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修 2 単位		
			外国語	必修 2 単位を含め、 4 単位以上		
		情 報	必修 3 単位以上			
	教養科目	学際総合科目		必修 2 単位を含め、 6 単位以上		
		教養科目				
資格関係科目						
専門教育科目	基礎		8 単位以上		70単位以上	
	発展		必修 6 単位を含め、 16単位以上			
	言語文化共通		8 単位以上			
	特別研究		6 単位			
卒業論文		4 単位				
計		124単位 ※				

※他学部・他学科・他コースが提供している専門教育科目、教職課程に関連する科目、学芸員資格科目、学校図書館司書教諭資格科目、短期大学部単位互換科目、教育ネットワーク中国との単位互換科目、交換留学プログラムの修得単位は、卒業要件単位に含まれます。



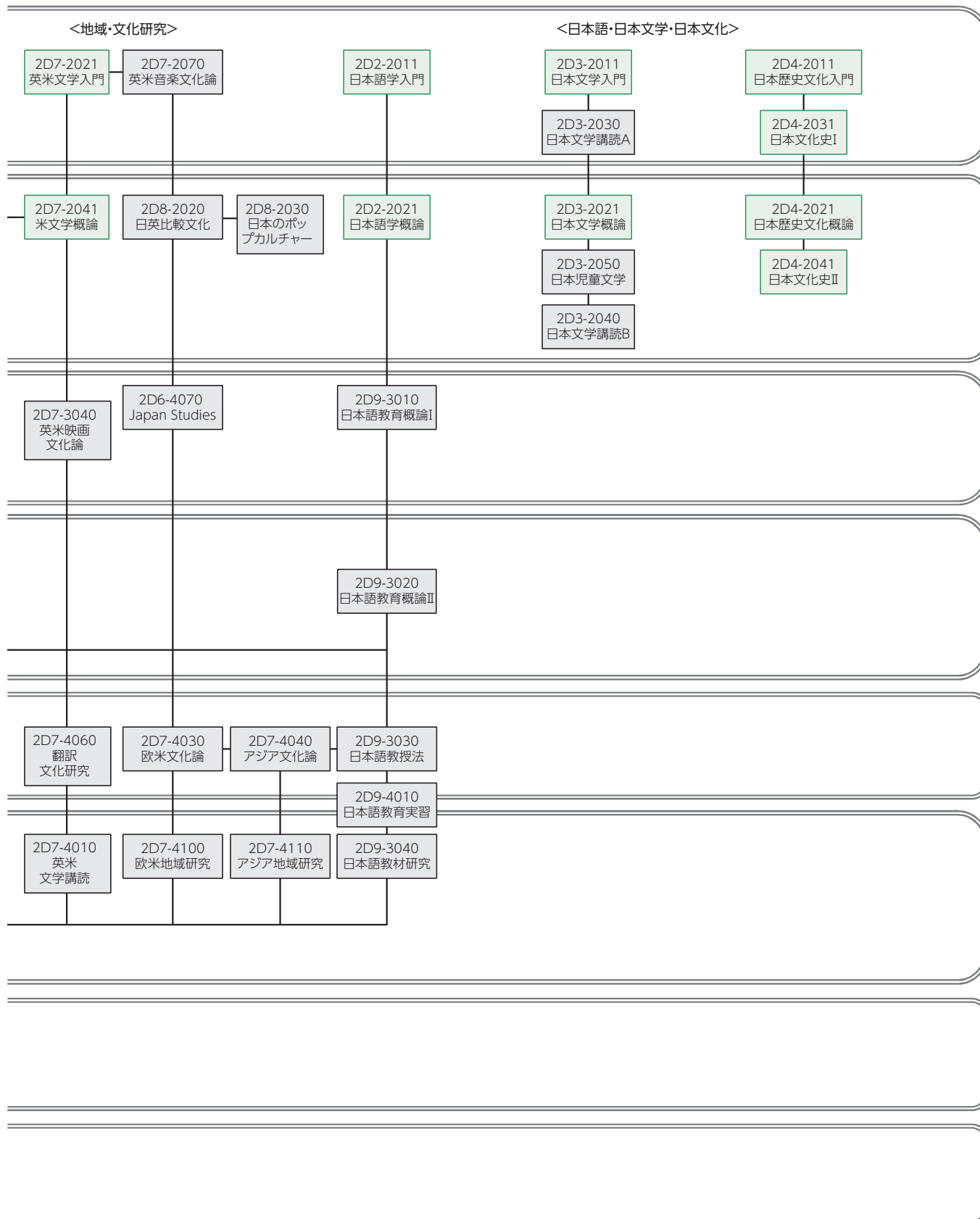
比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

ナンバリングのコード規則

(例) 2 D8 - 2 01 1 「異文化理解入門」

[学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [主要授業科目]

主要授業科目

ナンバリング
各コードの詳細

〔学部番号〕

2 大学

〔学問分野〕

D1	言語文化コア科目(基礎科目・特別研究などの必修系)
D2	日本語学
D3	日本文学
D4	日本歴史文化
D5	表現・創作
D6	国際コミュニケーションスキルズ
D7	地域・文化研究
D8	異文化理解
D9	国語科教育・英語科教育・日本語教育

〔難易度〕

1	レベル1 共通教育
2	レベル2 基礎
3	レベル3 専門
4	レベル4 発展
5	レベル5 専攻科
6	レベル6 大学院

〔通し番号〕

01 順次

〔主要授業科目〕

1	主要授業科目
0	主要授業科目以外

(4) 専門教育科目 現代文化学部 マスコミュニケーション学科 教育課程表

<2025年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主授科目	要 業 目	単位数 必修 選択	提供科目	開 講 時 期								卒業要件	
								1 年		2 年		3 年		4 年			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎	広告・マーケティング基礎ゼミ	演習	30			2			○								必修 6 単位を含め 20単位以上
	映像・取材基礎ゼミ	演習	30			2			○								
	観光・情報基礎ゼミ	演習	30			2			○								
	映像表現	講義	30	○			2		○								
	ニュース基礎	講義	30				2	☆	○								
	簿記論	講義	30				2		○								
	ライティングスキルⅠ	演習	30				2			○							
	マスコミ基礎	演習	30				2			○							
	観光学概論	講義	30	○			2			○							
	私流おもてなし論	講義	30				2			○							
	観光文化論	講義	30				2			○							
	コミュニケーションデザイン	演習	30	○			2			○							
	ITパスポート入門	講義	30	○			2				○						
	ビジネスの現場	講義	30				2					○					
	ビジネスの技術	演習	30				2						○				
専門	メディア史	講義	30				2		○								14単位以上
	メディア制作Ⅰ	演習	30				2			○							
	ライティングスキルⅡ	演習	30	○			2				○						
	メディア制作Ⅱ	演習	30				2				○						
	地域資源論	講義	30				2				○						
	観光ビジネス論	講義	30				2				○						
	観光消費者論	演習	30				2				○						
	地域経済論	講義	30				2				○						
	広告コピー制作	演習	30				2					○					
	統計学基礎	講義	30				2					○					
	マーケティングの企画	演習	30	○			2						○				
	グループワーク	演習	30				2						○				
	ニュースを読む	講義	30				2							○			
	映像文化	講義	30				2								○		
	観光マーケティング	講義	30				2								○		
	観光人材論	講義	30				2								○		
	発展 応用	ワークショップ	演習	30				2					○				
取材法		演習	30				2						○				
広島圏域の観光政策		演習	30	○			2						○				
世界遺産の観光学Ⅰ（宮島）		演習	30				2						○				
地域メディアの現場		講義	30				2							○			
世界遺産の観光学Ⅱ（平和遺産）		演習	30				2	☆						○			
瀬戸内ツーリズム		演習	30				2							○			
里山ツーリズム		演習	30				2							○			
ビジネスの知識		講義	30				2	☆							○		
研究	課題研究Ⅰ	演習	30	○		2							○				必修14単位
	課題研究Ⅱ	演習	30	○		2								○			
	特別研究Ⅰ	演習	60	○		4								○			
	特別研究Ⅱ	演習	60	○		4									○		
	特別研究Ⅲ	演習	30	○		2										○	
卒業論文	卒業論文				○	4									○	必修 4 単位	

計74単位以上

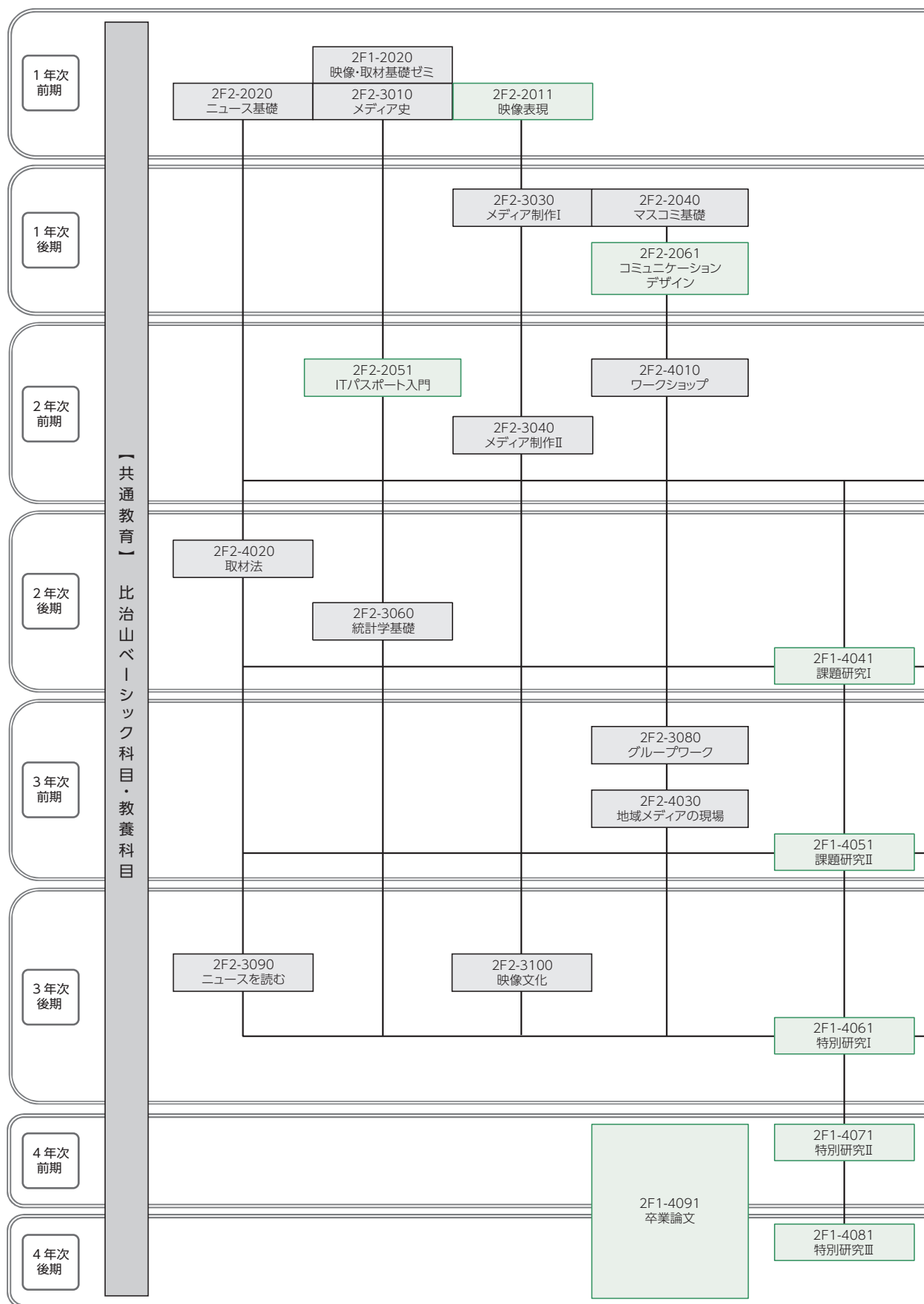
☆は、言語文化学科、社会臨床心理学科、子ども発達教育学科、健康栄養学部への提供科目です。

計74単位以上

卒業に必要な単位数

学科コース		マスコミュニケーション学科				
授業科目区分						
共通教育科目	比治山ベ ーシック科目	スタートアップ		必修 4 単位		24単位 以上
		キャリア形成		必修 2 単位以上		
		コミュニ ケーション リテラシー	日本語	必修 2 単位		
			外国語	必修 2 単位以上		
			情 報	必修 3 単位以上		
	育 教 科 養 目 教	学際総合科目		必修 2 単位を含め、 6 単位以上		
		教養科目				
		資格関係科目				
専門教育科目	基礎		必修 6 単位を含め、 20単位以上		70単位 以上	
	専門		14単位以上			
	発展応用		10単位以上			
	研究		14単位			
卒業論文		4 単位				
計		124単位※				

※他学部・他学科が提供している専門教育科目，学芸員資格科目，短期大学部単位互換科目，教育ネットワーク中国との単位互換科目，交換留学プログラムの修得単位は，卒業要件単位に含まれます。



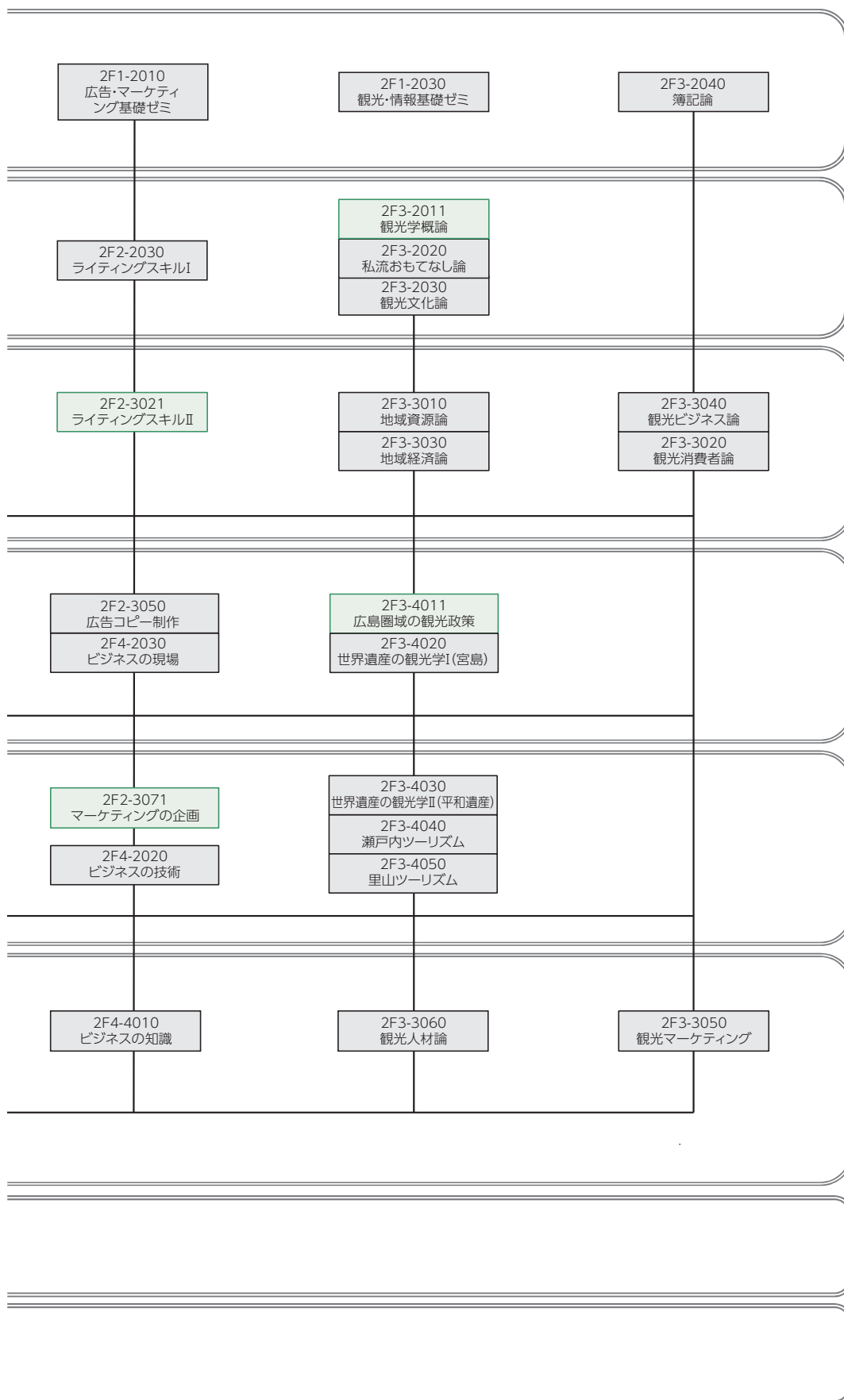
比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

ナンバリングのコード規則

(例) 2 F 2 - 2 01 1 「映像表現」

〔学部番号〕〔学問分野〕〔難易度〕〔通し番号〕〔主要授業科目〕

主要授業科目

ナンバリング
各コードの詳細

〔学部番号〕

2 大学

〔学問分野〕

F1	マスコミュニケーションコア科目 (基礎科目・特別研究などの必修系)
F2	メディア系
F3	観光系
F4	ビジネス系

〔難易度〕

1	レベル1 共通教育
2	レベル2 基礎
3	レベル3 専門
4	レベル4 発展
5	レベル5 専攻科
6	レベル6 大学院

〔通し番号〕

01 順次

〔主要授業科目〕

1	主要授業科目
0	主要授業科目以外

(5) 専門教育科目 現代文化学部 社会臨床心理学科 教育課程表

<2025年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主授科目	単位数		提供科目	開 講 時 期								卒業要件
					必修	選択		1 年		2 年		3 年		4 年		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎科目	心理学概論	講義	30	○	2			○								必修14単位
	臨床心理学概論	講義	30	○	2				○							
	心理学研究法	講義	30	○	2			○								
	心理社会調査法	講義	30	○	2				○							
	心理学統計法	講義	30	○	2				○							
	心理学実験	演習	60	○	4				○							
専門領域科目	知覚・認知心理学	講義	30			2	☆	○								演習 2 単位を含め 22単位以上
	学習・言語心理学	講義	30			2	☆			○						
	感情・人格心理学	講義	30			2	☆	○								
	神経・生理心理学	講義	30			2	☆				○					
	社会・集団・家族心理学	講義	30			2	☆		○							
	グループ・ダイナミクス	講義	30			2				○						
	対人コミュニケーション論	講義	30			2				○						
	発達心理学	講義	30			2	☆	○								
	生涯発達心理学	講義	30			2	☆							○		
	障害者・障害児心理学	講義	30			2	☆			○						
	心理的アセスメント	講義	30			2	☆				○					
	心理学的支援法	講義	30			2	☆			○						
	援助コミュニケーション論	講義	30			2	☆	○								
	コミュニティ心理学	講義	30			2	☆				○					
	知覚・認知心理学演習	演習	30			2								○		
	社会・集団・家族心理学演習	演習	30			2								○		
	教育・学校心理学演習	演習	30			2								○		
	発達心理学演習	演習	30			2								○		
	臨床心理学演習 A	演習	30			2								○		
	臨床心理学演習 B	演習	30			2								○		
臨床心理学演習 C	演習	30			2								○			
発展科目	社会臨床心理学	講義	30	○	2						○					必修 4 単位
	社会臨床心理学演習	演習	30	○	2							○				
実践科目	公認心理師の職責	講義	30			2			○							必修 4 単位を含め 26単位以上
	健康・医療心理学	講義	30			2				○						
	福祉心理学	講義	30			2					○					
	教育・学校心理学	講義	30			2			○							
	司法・犯罪心理学	講義	30			2						○				
	産業・組織心理学	講義	30			2							○			
	人体の構造と機能及び疾病	講義	30			2						○				
	精神疾患とその治療	講義	30			2							○			
	関係行政論	講義	30			2			○							
	学生生活とメンタルヘルス	講義	30			2		○								
	意思決定の心理学	講義	30			2						○				
	発達臨床心理学	講義	30			2					○					
	ポジティブ心理学	講義	30			2							○			
	表現療法	講義	30			2						○				
	力動的心理療法	講義	30			2							○			
	認知行動療法	講義	30			2							○			
	心理測定演習	演習	30	○	2									○		
	コミュニケーション演習	演習	30	○	2						○					
	心理学総合演習Ⅰ	演習	30			2					○					
	心理学総合演習Ⅱ	演習	30			2							○			
	心理学情報処理演習	演習	30			2							○			
	文献講読演習	演習	30			2								○		
	リサーチ・リテラシー	演習	30			2									○	
	心理演習	演習	30			2					○					
	心理実習Ⅰ	実習	60			2						○				
	心理実習Ⅱ	実習	60			2							○			
特別研究	特別研究Ⅰ	演習	30	○	2									○	必修 4 単位	
	特別研究Ⅱ	演習	30	○	2									○		
卒業論文	卒業論文			○	4									○	必修 4 単位	

計74単位以上

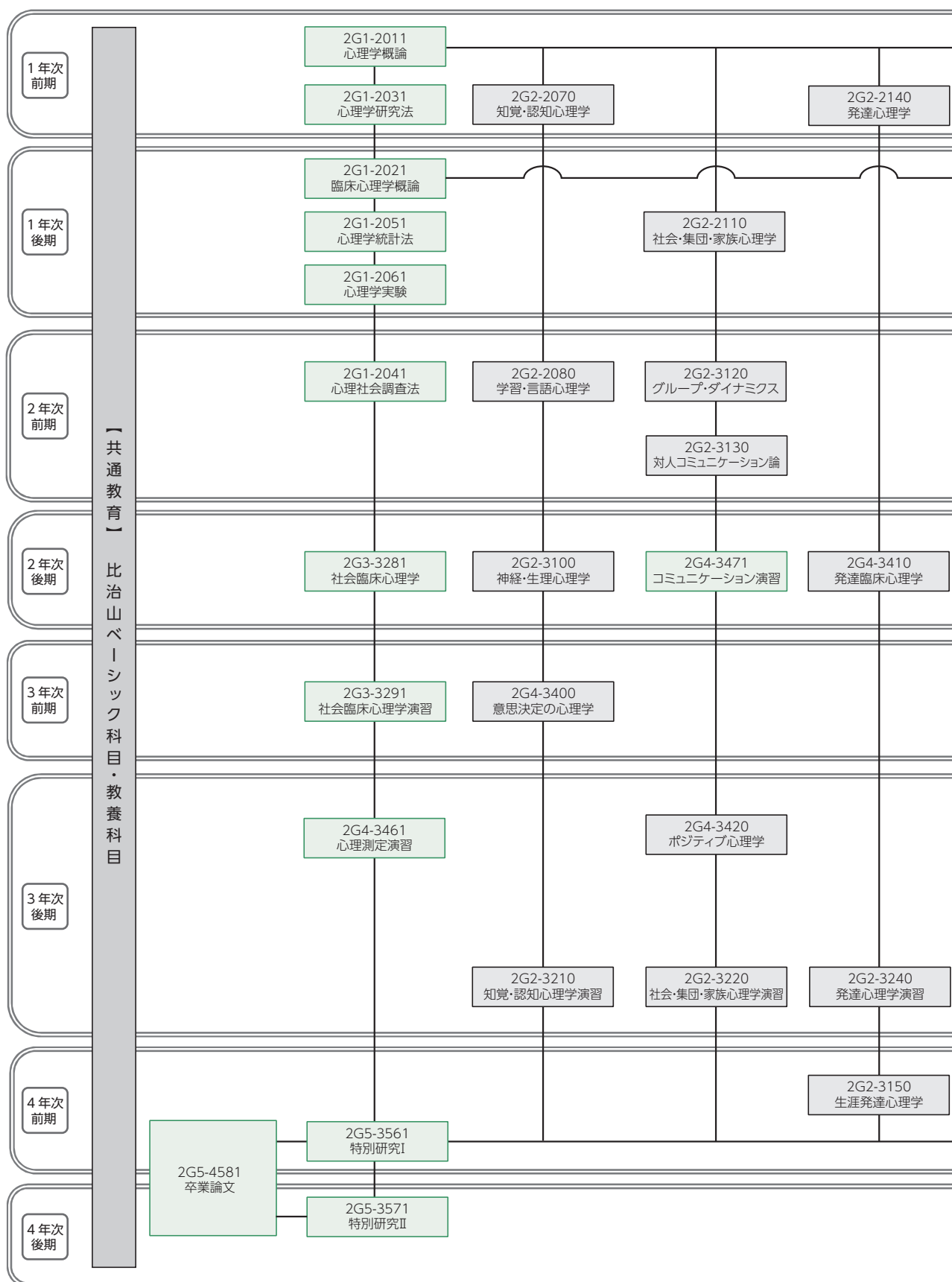
☆は、言語文化学科、マスコミュニケーション学科、子ども発達教育学科、健康栄養学部への提供科目です。

計74単位以上

卒業に必要な単位数

学科コース		社会臨床心理学科				
授業科目区分						
共通教育科目	比治山ベ ーシック 科目	スタートアップ		必修 4 単位		24単位 以上
		キャリア形成		必修 2 単位以上		
		コミュニ ケーション リテラシー	日本語	必修 2 単位		
			外国語	必修 2 単位以上		
			情報	必修 3 単位以上		
	育 教 科 養 目 教	学際総合科目		必修 2 単位を含め、 6 単位以上		
		教養科目				
		資格関係科目				
専門教育科目	基礎科目		14単位		70単位 以上	
	専門領域科目		22単位以上			
	発展科目		4 単位			
	実践科目		26単位以上			
	特別研究		4 単位			
卒業論文		4 単位				
計		124単位 ※				

※他学部・他学科が提供している専門教育科目, 短期大学部単位互換科目, 教育ネットワーク中国との単位互換科目, 交換留学プログラムの修得単位は, 卒業要件単位に含まれます。

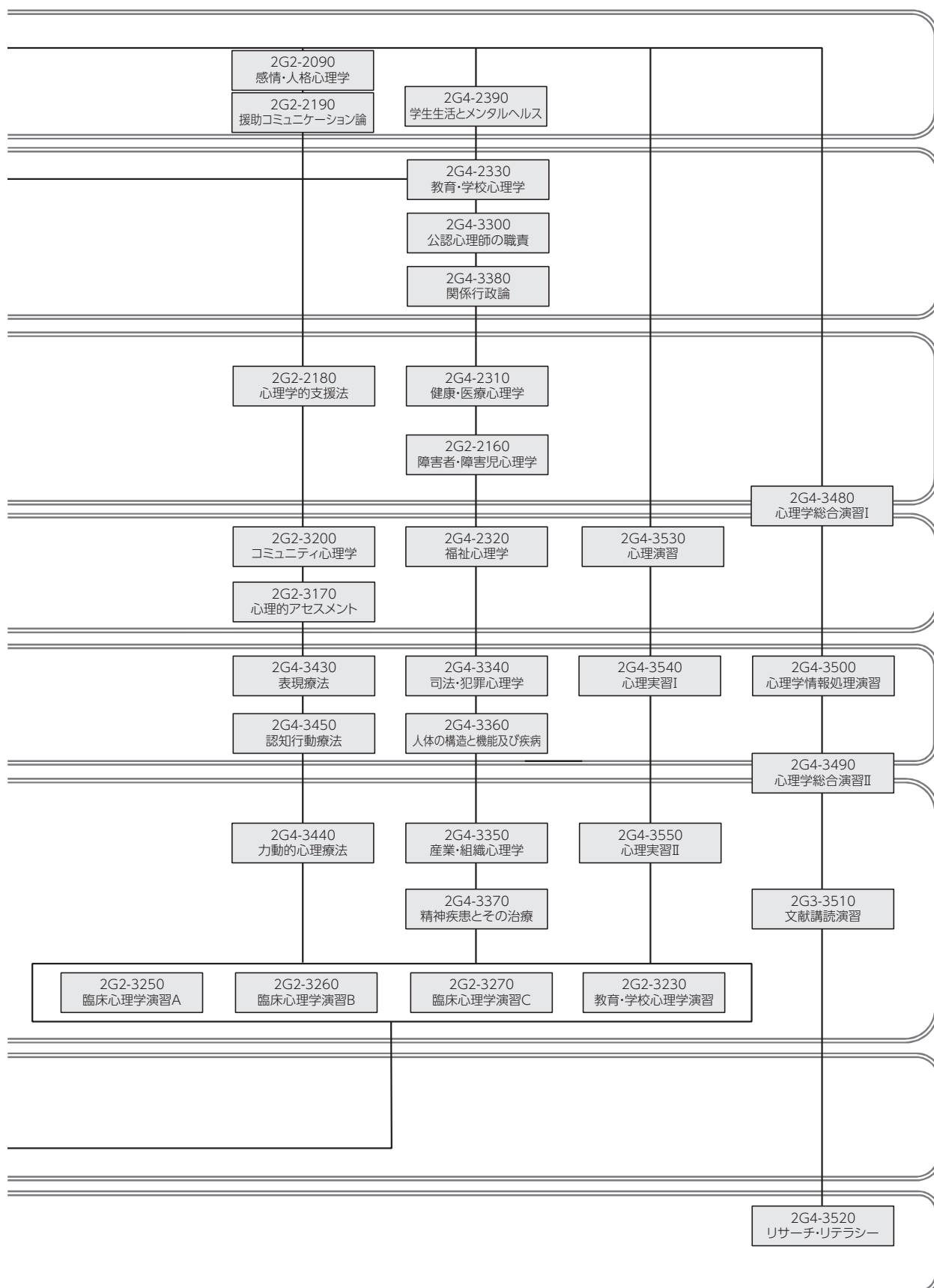


比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

ナンバリングのコード規則

(例) 2 G 1 - 2 01 1 「心理学概論」
 [学部番号] [学問分野] [難易度] [通し番号] [主要授業科目]

主要授業科目

ナンバリング
各コードの詳細

〔学部番号〕

2 大学

〔学問分野〕

G1	社会臨床心理コア科目(基礎科目)
G2	専門領域科目
G3	発展科目
G4	実践科目
G5	研究系科目

〔難易度〕

1	レベル1 共通教育
2	レベル2 基礎
3	レベル3 専門
4	レベル4 発展
5	レベル5 専攻科
6	レベル6 大学院

〔通し番号〕

01 順次

〔主要授業科目〕

1	主要授業科目
0	主要授業科目以外

(6) 専門教育科目 現代文化学部 子ども発達教育学科 教育課程表

<2025年度入学生>

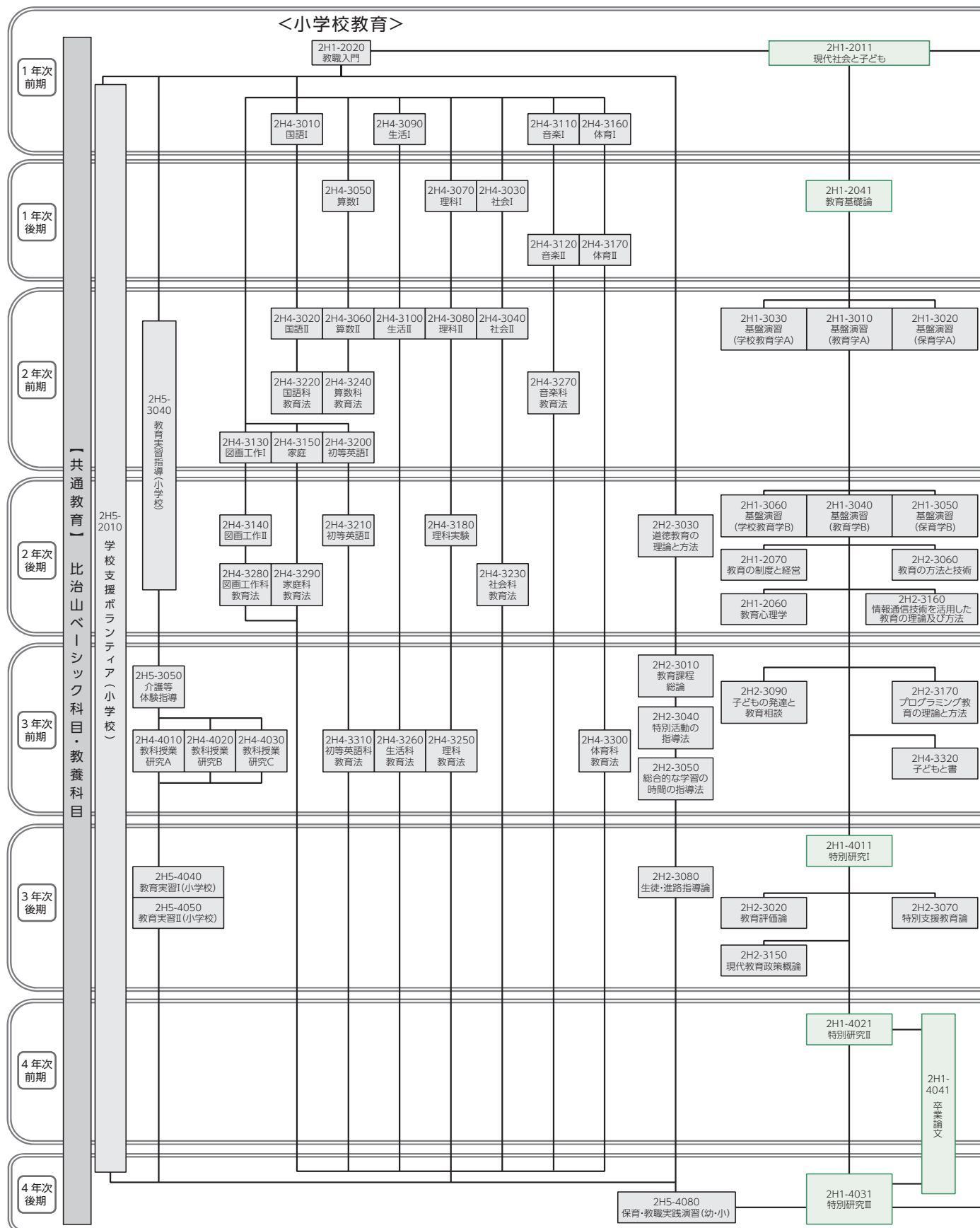
科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		提供科目	開 講 時 期								卒業要件
					必修	選択		1 年		2 年		3 年		4 年		
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基本科目	現代社会と子ども	講義	30	○	2			○								必修 4 単位を含め 8 単位以上
	教職入門	講義	30			2		○								
	保育者論	講義	30			2		○								
	教育基礎論	講義	30	○	2			○								
	保育の心理学	講義	30			2		○								
	教育心理学	講義	30			2				○						
	教育の制度と経営	講義	30			2				○						
	保育原理	講義	30			2		○								
	社会福祉	講義	30			2					○					
	子ども家庭福祉	講義	30			2		○								
	基盤演習(教育学A)	演習	30			2			○							4 単位以上
	基盤演習(保育学A)	演習	30			2			○							
	基盤演習(学校教育学A)	演習	30			2			○							
	基盤演習(教育学B)	演習	30			2				○						
	基盤演習(保育学B)	演習	30			2				○						
	基盤演習(学校教育学B)	演習	30			2				○						
教育学・心理学系科目	教育課程総論	講義	15			1						○				計 60 単位以上
	教育評価論	講義	30			2							○			
	道德教育の理論と方法	講義	30			2				○						
	特別活動の指導法	講義	15			1					○					
	総合的な学習の時間の指導法	講義	15			1					○					
	教育の方法と技術	講義	15			1					○					
	特別支援教育論	講義	30			2							○			
	生徒・進路指導論	講義	30			2							○			
	子どもの発達と教育相談	講義	30			2					○					
	子ども理解の理論と方法	演習	30			2				○						
	子ども家庭支援の心理学	講義	30			2						○				
	現代教育政策概論	講義	30			2							○			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	講義	15			1					○					
	プログラミング教育の理論と方法	講義	30			2						○				
保育・幼児教育系科目	子ども家庭支援論	講義	30			2					○					
	社会的養護Ⅰ	講義	30			2		○								
	社会的養護Ⅱ	演習	30			2					○					
	子どもの保健	講義	30			2				○						
	子どもの食と栄養	演習	30			2				○						
	幼児教育課程論	講義	30			2					○					
	保育内容総論	演習	30			2		○								
	保育指導法(健康)	演習	30			2				○						
	保育内容(健康)	講義	30			2			○							
	保育指導法(人間関係)	演習	30			2							○			
	保育内容(人間関係)	講義	30			2						○				
	保育指導法(環境)	演習	30			2							○			
	保育内容(環境)	講義	30			2						○				
	保育指導法(言葉)	演習	30			2						○				
	保育内容(言葉)	講義	30			2					○					
	保育指導法(表現Ⅰ)	演習	30			2					○					
	保育指導法(表現Ⅱ)	演習	30			2						○				
	保育内容(表現)	講義	30			2				○						
	保育内容の理解と方法Ⅰ	演習	30			2						○				
	保育内容の理解と方法Ⅱ	演習	30			2							○			
	乳児保育Ⅰ	講義	30			2					○					
	乳児保育Ⅱ	演習	30			2							○			
	子どもの健康と安全	演習	30			2				○						
	障がい児保育	演習	30			2				○						
	子育て支援	演習	30			2							○			
	保育実践研究	演習	30			2							○			

計60単位以上

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		提供科目	開 講 時 期								卒業要件	
					必修	選択		1 年		2 年		3 年		4 年			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教科教育系科目	国語Ⅰ	講義	30			2		○									
	国語Ⅱ	講義	30			2				○							
	社会Ⅰ	講義	30			2			○								
	社会Ⅱ	講義	30			2				○							
	算数Ⅰ	講義	30			2			○								
	算数Ⅱ	講義	30			2				○							
	理科Ⅰ	講義	30			2			○								
	理科Ⅱ	講義	30			2				○							
	生活Ⅰ	講義	30			2		○									
	生活Ⅱ	講義	30			2				○							
	音楽Ⅰ	演習	30			1		○									
	音楽Ⅱ	演習	30			1			○								
	図画工作Ⅰ	演習	30			1					○						
	図画工作Ⅱ	演習	30			1						○					
	家庭	講義	30			2					○						
	体育Ⅰ	演習	30			1		○									
	体育Ⅱ	演習	30			1			○								
	理科実験	実習	30			1					○						
	初等英語Ⅰ	講義	30			2				○							
	初等英語Ⅱ	講義	30			2					○						
	国語科教育法	講義	30			2					○						
	社会科教育法	講義	30			2						○					
	算数科教育法	講義	30			2					○						
	理科教育法	講義	30			2							○				
	生活科教育法	講義	30			2							○				
	音楽科教育法	講義	30			2					○						
	図画工作科教育法	講義	30			2						○					
	家庭科教育法	講義	30			2						○					
	体育科教育法	講義	30			2							○				
	初等英語科教育法	講義	30			2							○				
	教科授業研究A	演習	30			1							○				
	教科授業研究B	演習	30			1							○				
	教科授業研究C	演習	30			1							○				
	子どもと書	演習	30			2	☆						○				
実習系科目	保育実習指導Ⅰ	演習	30			2				(○)							
	保育実習指導Ⅱ	演習	30			1						(○)					
	保育実習指導Ⅲ	演習	30			1						(○)					
	保育実習Ⅰ(保育所・施設)	実習	180			4				(○)							
	保育実習Ⅱ(保育所)	実習	90			2						(○)					
	保育実習Ⅲ(施設)	実習	90			2						(○)					
	教育実習指導	講義	15			1				(○)							
	教育実習Ⅰ(小学校)	実習	90			2							(○)				
	教育実習Ⅱ(小学校)	実習	90			2							(○)				
	教育実習Ⅲ(幼稚園)	実習	90			2						(○)					
	教育実習Ⅳ(幼稚園)	実習	90			2								(○)			
	介護等体験指導	演習	15			1						(○)					
	保育・教職実践演習(幼・小)	演習	30			2										○	
	学校支援ボランティア	実習	30			1						○					
特別研究	特別研究Ⅰ	演習	30	○	2								○				必修6単位
	特別研究Ⅱ	演習	30	○	2									○			
	特別研究Ⅲ	演習	30	○	2										○		
卒業論文	卒業論文			○	4										○		必修4単位

計60単位以上

☆は、言語文化学科、マスコミュニケーション学科、社会臨床心理学科、健康栄養学部への提供科目です。



比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

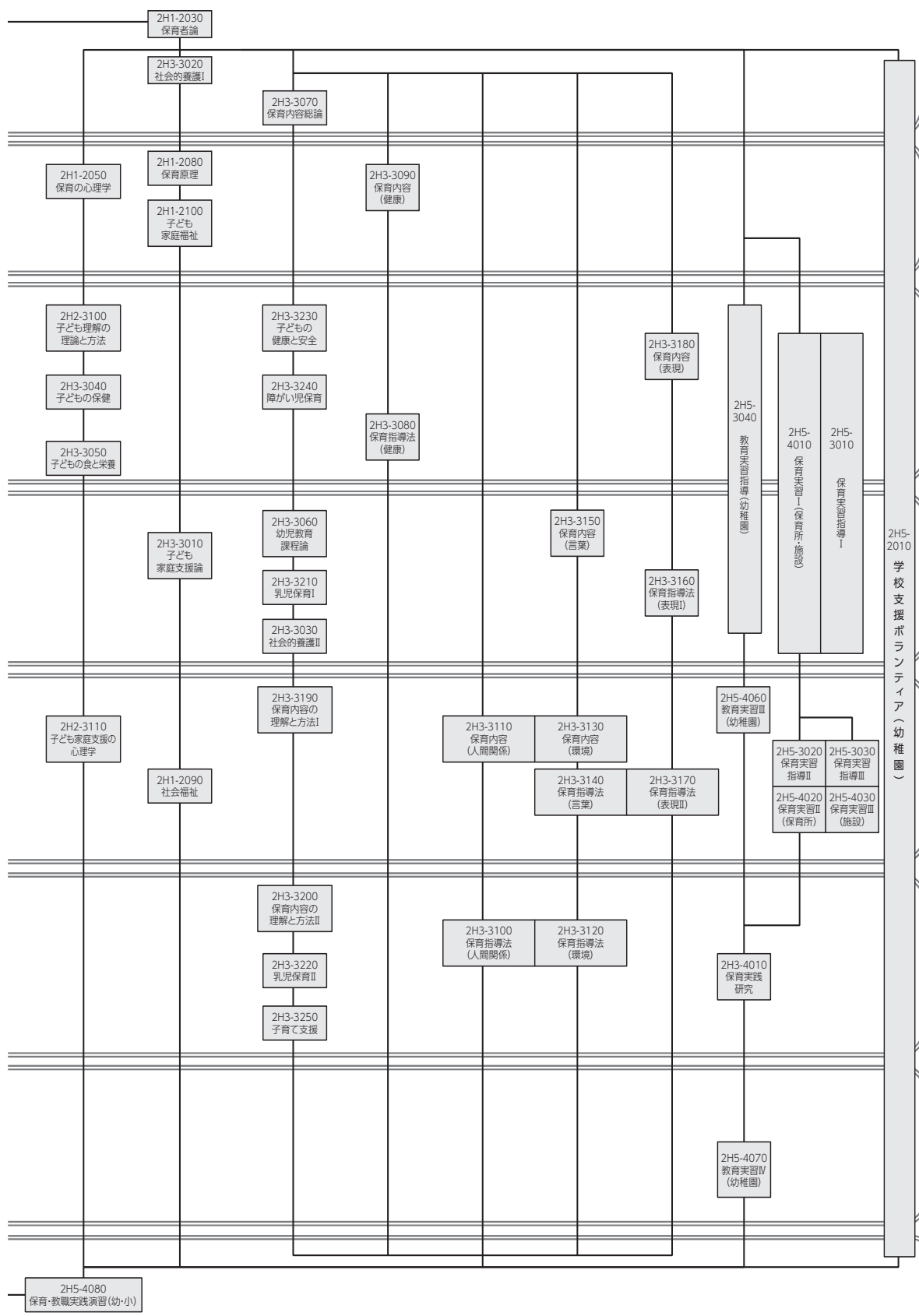
ナンバリングのコード規則

(例) 2 H 1 - 2 01 1 「現代社会と子ども」

〔学部番号〕〔学問分野〕〔難易度〕〔通し番号〕〔主要授業科目〕

主要授業科目

<保育・幼児教育>

ナンバリング
各コードの詳細

〔学部番号〕

2 大学

〔学問分野〕

H1	子ども発達教育コア科目(基本科目・特別研究などの必修系)
H2	教育学・心理学系科目
H3	保育・幼児教育系科目
H4	教科教育系科目
H5	実習系科目

〔難易度〕

1	レベル1 共通教育
2	レベル2 基礎
3	レベル3 専門
4	レベル4 発展
5	レベル5 専攻科
6	レベル6 大学院

〔通し番号〕

01 順次

〔主要授業科目〕

1	主要授業科目
0	主要授業科目以外

卒業に必要な単位数

学科コース		子ども発達教育学科			
授業科目区分					
共通教育科目	比治山ベ ーシック 科目	スタートアップ		必修 4 単位	24単位 以上
		キャリア形成		必修 2 単位以上	
		コミュニ ケーション リテラシー	日本語	必修 2 単位	
			外国語	必修 2 単位を含め、 4 単位以上	
			情 報	必修 3 単位以上	
	教養教育 科目	学際総合科目		必修 2 単位を含め、 6 単位以上	
		教養科目			
		資格関係科目			
専門教育科目	基本科目		必修 4 単位を含め、 12単位	60単位	
	特別研究		6 単位		
卒業論文		4 単位			
計		124単位 ※			

※他学部・他学科が提供している専門教育科目，学校図書館司書教諭資格科目，短期大学部単位互換科目，教育ネットワーク中国との単位互換科目，交換留学プログラムの修得単位は，卒業要件単位に含まれます。

(7) 健康栄養学部 共通教育科目

<2025年度入学生>

科目区分		授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		開講時期								卒業要件	
						必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
比治山ベーシック科目	スタートアップ	初年次セミナーⅠ	演習	30	○	2		○								必修4単位	
		初年次セミナーⅡ	演習	30	○	2			○								
	キャリア形成	キャリアデザイン入門	講義	30	○	2				○						必修2単位以上	
		インターンシップA	実習	45			1			○							
		インターンシップB	実習	90			2			○							
		キャリア研究	演習	30			2				○						
	コミュニケーションリテラシー	日本語	日本語リテラシー	演習	30	○	1		○							必修2単位	
			日本語表現	演習	30	○	1			○							
		外国語	英語リテラシー	演習	60	○	2		○							必修2単位を含め、 4単位以上	
			英語Ⅰ	演習	60			2		○							
			英語Ⅱ	演習	30			1			○						
			英語Ⅲ	演習	30			1				○					
			英会話Ⅰ	演習	30			1	○								
			英会話Ⅱ	演習	30			1		○							
			中国語Ⅰ	演習	30			1	○								
			中国語Ⅱ	演習	30			1		○							
			韓国語Ⅰ	演習	30			1	○								
			韓国語Ⅱ	演習	30			1		○							
		情報	情報リテラシー	演習	30	○	1		○								必修3単位以上
			データサイエンス入門	演習	30	○	2			○							
	データサイエンス演習		演習	30			2		○								
	プログラミング基礎		演習	30			2			○							
教養教育科目	学際総合科目	人間と生命（比治山学）	講義	30	○	2		*	*						必修2単位を含め、 6単位以上		
		ひろしま学	講義	30			2	*	*								
		複合領域研究	講義	60			4			*							
	教養科目	言語学	講義	30			2	*	*								
		文学	講義	30			2	*	*								
		歴史学	講義	30			2	*	*								
		哲学	講義	30			2	*	*								
		芸術学	講義	30			2	*	*								
		教育学	講義	30			2	*	*								
		経営学	講義	30			2	*	*								
		社会学	講義	30			2	*	*								
		観光学	講義	30			2	*	*								
		心理学	講義	30			2	*	*								
		保健学	講義	30			2	*	*								
		生理学	講義	30			2	*	*								
		栄養学	講義	30			2	*	*								
		資格関係科目	日本国憲法	講義	30			2				○					
	ウェルネス論		講義	30			2	○									
	スポーツ		実技	30			1	○									

24単位以上

開講時期の○印は、その学期に開講する科目を示しています。

開講学期の*印の授業科目はオリエンテーションの履修指導、時間割等で確認してください。

履修条件については、「履修の手引き」で確認してください。

卒業に必要な
単位数

共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ		必修 4 単位	24 単位 以上
		キャリア形成		必修 2 単位以上	
		コミュニケーション リテラシー	日本語	必修 2 単位	
			外国語	必修 2 単位を含め、 4 単位以上	
			情 報	必修 3 単位以上	
	教養教育科目	学際総合科目		必修 2 単位を含め、 6 単位以上※	
		教養科目			
		資格関係科目			

※資格必修科目(ウェルネス論，スポーツ)の3単位を含む

科目区分		授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		提供科目	開講時期								卒業要件	栄養士	管理栄養士	フードサイエティスト
						必修	選択		1年		2年		3年		4年					
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門教育科目	導入分野	管理栄養論	講義	30			2			○						4単位以上 選択必修				
		基礎化学	講義	30			2	☆	○											
		基礎生物学	講義	30			2		○											
	専門基礎分野	社会・環境と健康	健康科学論	講義	30	○	2			○						必修4単位	◎	◎		
			健康心理学	講義	30			2			○							●		
			公衆衛生学	講義	30	○	2							○				◎	◎	
			栄養情報実習	実習	45			1			○							●	●	
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学Ⅰ	講義	30	○	2					○				必修8単位	◎	◎		
			解剖生理学Ⅱ	講義	30			2					○						●	
			疾病論Ⅰ	講義	30	○	2							○				◎	◎	
			疾病論Ⅱ	講義	30			2							○				●	
			運動生理学	講義	30	○	2						○					◎	◎	
			運動生理学実験実習	実験実習	45			1							○				●	
			生化学	講義	30	○	2					○						◎	◎	◎
			栄養生化学	講義	30			2						○					●	●
			生化学実験	実験	45			1							○				●	●
			食べ物と健康	食品学	講義	30	○	2					○					必修15単位	◎	◎
		基礎分析実験		実験	45	○	1					○					◎		◎	◎
		食品学実験		実験	45	○	1							○			◎		◎	◎
		食品加工学		講義	30			2						○			◎		◎	◎
		食品加工学実習		実習	45			1								○			◎	◎
		食品衛生学		講義	30			2						○			◎		◎	◎
		食品衛生学実習		実習	45			1							○				◎	◎
		調理学		講義	30	○	2					○					◎		◎	
		調理学実習Ⅰ		実習	45	○	1					○							◎	◎
		調理学実習Ⅱ		実習	45	○	1						○						◎	◎
		調理学実習Ⅲ		実習	45	○	1							○					◎	◎
		専門分野		基礎栄養学	基礎栄養学	講義	30	○	2				○				必修3単位		◎	◎
			栄養学実験		実験	45	○	1				○						◎	◎	◎
			応用栄養学	応用栄養学	講義	30			2				○				必修5単位		●	
				ライフステージ栄養学	講義	30	○	2					○					◎	◎	
				ライフステージ栄養学実習	実習	45	○	1						○				◎	◎	
				スポーツ栄養学	講義	30	○	2							○				◎	◎
			栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	講義	30	○	2				○					必修5単位	◎	◎	
				栄養教育論Ⅱ	講義	30	○	2					○					◎	◎	
				カウンセリング論	講義	30			2					○					●	
	栄養教育論実習			実習	45	○	1						○					◎	◎	
	臨床栄養学		臨床栄養学Ⅰ	講義	30	○	2					○				必修3単位	◎	◎		
			臨床栄養学Ⅱ	講義	30			2					○					●		
			臨床栄養学Ⅲ	講義	30			2						○				●		
			薬理学	講義	30			2							○			●		
			臨床栄養学実習Ⅰ	実習	45	○	1						○					◎	◎	
			臨床栄養学実習Ⅱ	実習	45			1						○				●		

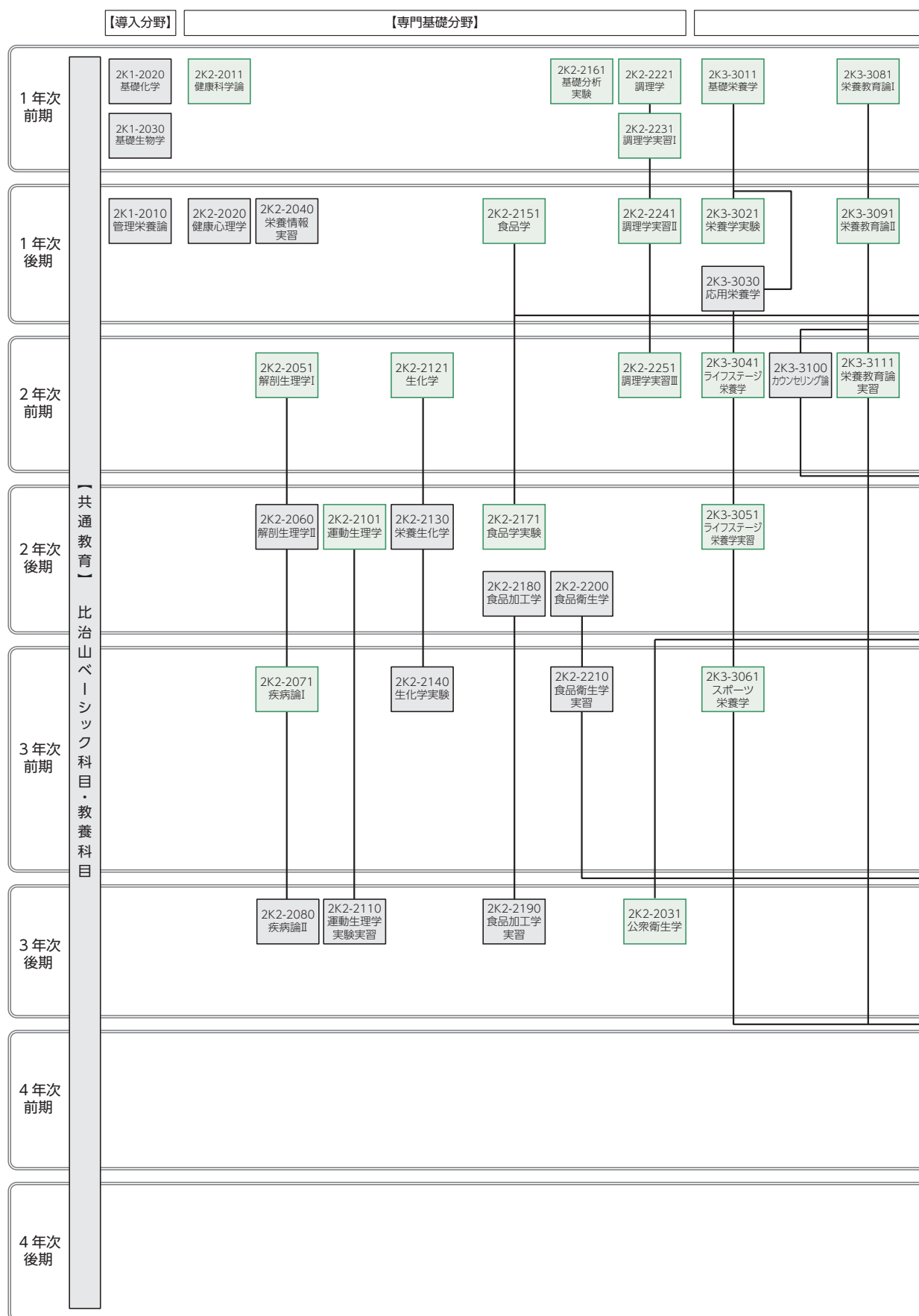
○卒業必修科目(資格必修科目を含む) ●資格必修科目

科目区分		授業科目	授業方法	授業すべき時間数	主要授業科目	単位数		提供科目	開講時期								卒業要件	栄養士	管理栄養士	フードサイエンティスト		
						必修	選択		1年		2年		3年		4年							
									前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門教育科目	専門分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	講義	30	○	2							○				必修 2単位	○	○		
			公衆栄養学Ⅱ	講義	30			2							○					●		
			公衆栄養学実習	実習	45			1							○					●		
		給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	講義	30	○	2					○							必修 4単位	○	○	
			給食経営管理論Ⅱ	講義	30			2				○									●	
			給食経営管理実習Ⅰ	実習	45	○	1						○							○	○	
			給食経営管理実習Ⅱ	実習	45	○	1								○					○	○	
		演習 総合	総合演習Ⅰ	演習	30	○	1							○					必修 1単位	○	○	
			総合演習Ⅱ	演習	30			1									○				●	
		臨地実習	給食経営管理臨地実習Ⅰ(給食の運営)	実習	45	○	1							○					必修 1単位	○	○	
			給食経営管理臨地実習Ⅱ	実習	45			1									○				●※	
			公衆栄養学臨地実習	実習	45			1									○				●※	
			臨床栄養学臨地実習Ⅰ	実習	45			1									○				●	
			臨床栄養学臨地実習Ⅱ	実習	45			1									○				●	
	専門発展分野	食と食文化領域	暮らしの中の食品学	講義	30		2	☆			○											●
			Glocal Training(健康栄養研修)	演習	30		2				○											
		子ども関連領域	子どもの食	講義	30		2							○								
			子ども発達心理学	講義	30		2								○							
			子どもの保健	講義	30		2								○							
		臨床・福祉関連領域	カウンセリング演習	演習	30		2							○								
			トレーニング科学演習	演習	30		2								○							
			栄養ケア・マネジメント演習	演習	30		2									○						
		地域貢献・連携領域	ひろしまの食と健康・栄養活動A	演習	30		2					○							必修 8単位			
			ひろしまの食と健康・栄養活動B	演習	30		2							○								
			地域課題研究Ⅰ	演習	30	○	2						○							○	○	
			地域課題研究Ⅱ	演習	30	○	2							○						○	○	
			地域課題研究Ⅲ	演習	30	○	2									○				○	○	
			地域課題研究Ⅳ	演習	30	○	2											○		○	○	
		健康栄養総合演習領域	健康栄養総合演習Ⅰ	演習	30		2							○								
			健康栄養総合演習Ⅱ	演習	30		2								○							
			健康栄養総合演習Ⅲ	演習	30		2										○					
			健康栄養総合演習Ⅳ	演習	30		2											○				

☆は、言語文化学科、マスコミュニケーション学科、社会臨床心理学科、子ども発達教育学科への提供科目です。

○卒業必修科目(資格必修科目を含む) ●資格必修科目 ●※資格必修科目どちらか1単位

栄養教諭一種免許状の取得を志望する場合はpp.70-71, pp.83-85を必ず確認してください。



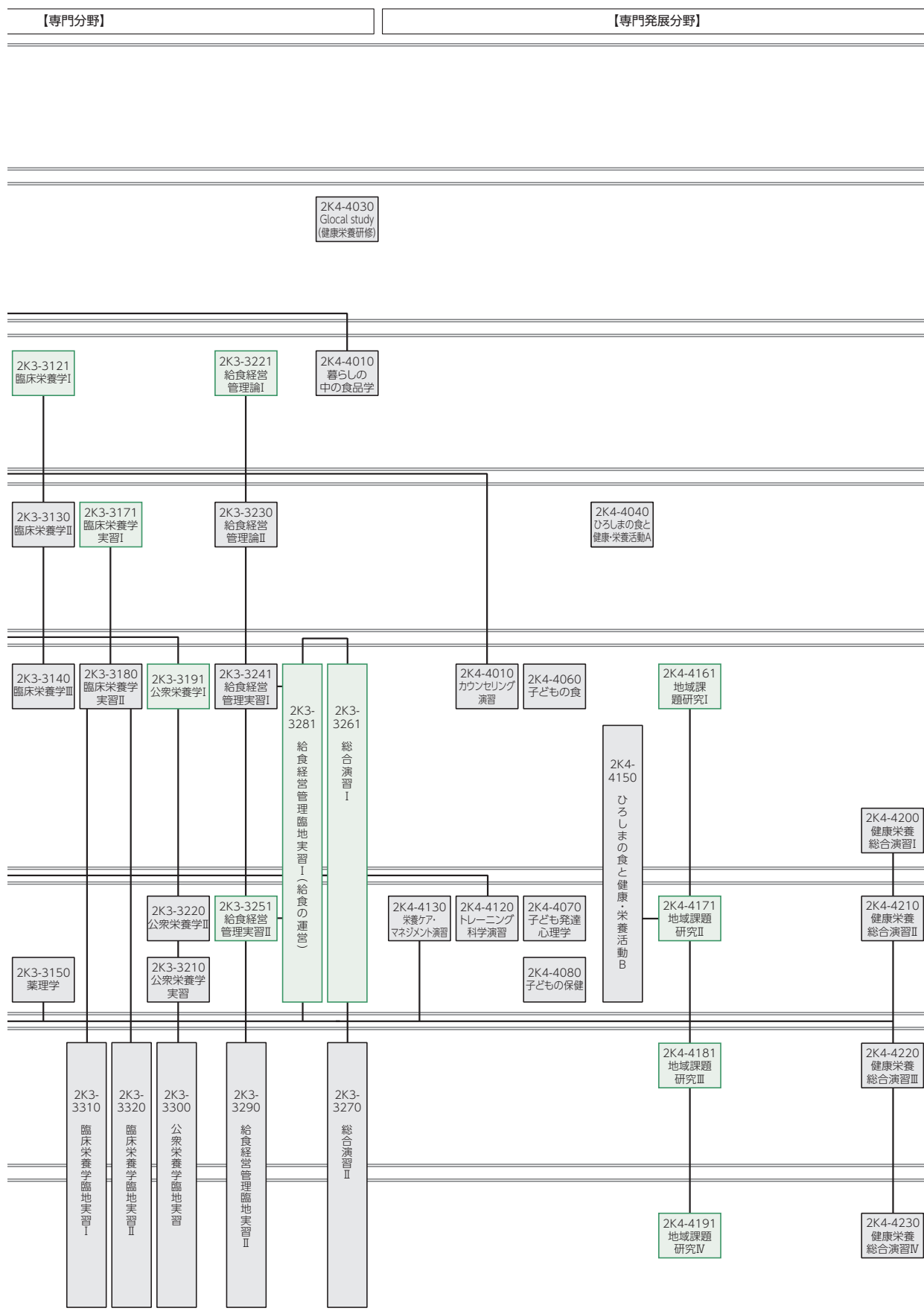
比治山大学ナンバリングとは、授業科目の学問分野や難易度などに即して適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。

ナンバリングのコード規則

(例) 2 K 2 - 2 01 1 「健康科学論」

〔学部番号〕〔学問分野〕〔難易度〕〔通し番号〕〔主要授業科目〕

主要授業科目

ナンバリング
各コードの詳細

〔学部番号〕

2 大学

〔学問分野〕

K1	管理栄養コア科目(導入分野)
K2	専門基礎分野
K3	専門分野
K4	専門発展分野

〔難易度〕

1	レベル1	共通教育
2	レベル2	基礎
3	レベル3	専門
4	レベル4	発展
5	レベル5	専攻科
6	レベル6	大学院

〔通し番号〕

01 順次

〔主要授業科目〕

1	主要授業科目
0	主要授業科目以外

卒業に必要な単位数

学部学科		健康栄養学部 管理栄養学科			
授業科目区分					
共通教育科目	比治山ベシッ科目	スタートアップ		必修 4 単位	24単位以上
		キャリア形成		必修 2 単位以上	
		コミュニケーションリテラシー	日本語	必修 2 単位	
			外国語	必修 2 単位を含め、 4 単位以上	
			情 報	必修 3 単位以上	
	教養教育科目	学際総合科目		必修 2 単位を含め、 6 単位以上※1	
		教養科目			
資格関係科目					
専門教育科目	導入分野		4 単位以上選択必修		63単位以上
	専門基礎分野	社会・環境と健康		必修 4 単位以上	
		人体の構造と機能及び疾病の成り立ち		必修 8 単位以上	
		食べ物と健康		必修15単位	
	専門分野	基礎栄養学		必修 3 単位	
		応用栄養学		必修 5 単位以上	
		栄養教育論		必修 5 単位以上	
		臨床栄養学		必修 3 単位以上	
		公衆栄養学		必修 2 単位以上	
		給食経営管理論		必修 4 単位以上	
		総合演習		必修 1 単位以上	
		臨地実習		必修 1 単位以上	
	専門発展分野	食と食文化領域			
		子ども関連領域			
		臨床・福祉関連領域			
地域貢献・連携領域		必修 8 単位以上			
健康栄養総合演習領域					
計		124単位※ 2			

※ 1 資格必修科目(ウエルネス論, スポーツ)の 3 単位を含む

※ 2 他学部・他学科が提供している専門教育科目, 教職課程に関連する科目, 短期大学部単位互換科目, 教育ネットワーク中国との単位互換科目, 交換留学プログラムの修得単位は, 卒業要件単位に含まれます。

● 地域課題研究

地域課題研究では、指導教員のもと、各自でテーマを決め、各自の報告書を作成し、報告会を実施します。詳細については、指導教員から別途説明がありますが、報告書および報告会の概略は次のとおりです。

<報告書>

(1) 個人研究

- ・ A4判上質紙を縦置きで使用し、横書きとする。
- ・ 文書作成ソフトウェアを使用し、40字×25行で10ページを目安とする(ただし、表紙、目次はページ数に含まない)。
- ・ 表紙には、題目、学科名、学生番号、氏名、指導教員名を標記する。

(2) 共同研究

- ・ 共同研究者は原則として3名までとする。
- ・ 書式等は個人研究に準じる。
- ・ 共同研究においても、報告書は原則として個人で作成する。

(3) ファイルに挟んで1部提出する。

<報告会>

(1) 個人研究

- ・ プレゼンテーションソフトを使用し、口頭発表を行う。

(2) 共同研究

- ・ 個人研究に準じる。

なお、地域課題研究には、I、II、III、IVがあり、II、IIIおよびIVには次のとおり履修要件があるので注意してください。

地域課題研究IIは、地域課題研究Iを履修していること。

地域課題研究IIIは、地域課題研究IIを履修していること。

地域課題研究IVは、地域課題研究IIIを履修していること。

● 臨地実習と免許・資格との関連について

臨地実習科目は次の5科目です。このうち栄養士免許証取得には①の科目の単位修得、管理栄養士国家試験受験資格取得には、①、④、⑤の3科目の単位修得に加え、②または③のいずれかの科目の単位修得が必要です。なお、実習時間はいずれの科目も学外(1日8時間×5日間)と学内(5時間)で45時間です。

- ① 給食経営管理臨地実習 I (給食の運営)
- ② 給食経営管理臨地実習 II
- ③ 公衆栄養学臨地実習
- ④ 臨床栄養学臨地実習 I
- ⑤ 臨床栄養学臨地実習 II

● 臨地実習の履修および実施要件について

臨地実習は、栄養士・管理栄養士をはじめとする多職種の専門職が連携し、利用者等に責任を持って業務を行っている現場において、実際に業務を体験して学修する実習であるため、比治山大学生としてだけでなく、社会人としての自覚を十分に持って行動することが求められます。したがって、臨地実習の実施にあたっては、栄養士・管理栄養士免許取得への積極的な態度と意欲、現場で学ぶという姿勢、そして基礎的な知識・技能だけでなく、社会人としてのマナーを身に付けておくことが必要です。さらに、臨地実習での経験を今後に活かすために、臨地実習後の大学等での学修を積極的に行うことも重要です。

臨地実習の履修および実施にあたっては、次に掲げる要件「①・②」を満たす必要があります。それぞれの「臨地実習」実施の可否については、①・②の2要件を満たしていることに加え、「臨地実習」実習生としての適性を考慮し、管理栄養士指導センター(管理栄養学科全教員を含む)で協議のうえ決定します。いずれかの「臨地実習」の実施が不可もしくは延期となった場合、管理栄養士国家試験受験資格を4年間で取得することができません。

① 将来、栄養士・管理栄養士の職に就こうとする意欲や希望を有する。

②次の表に示すそれぞれの臨地実習科目の基礎知識・技能に関連する指定科目の単位を修得している、又は履修登録し、単位修得見込みである。

臨地実習の種類（科目）	指定科目
給食経営管理臨地実習Ⅰ（給食の運営）	給食経営管理論Ⅰ，給食経営管理実習Ⅰ
給食経営管理臨地実習Ⅱ	給食経営管理論Ⅱ，給食経営管理臨地実習Ⅰ（給食の運営）
公衆栄養学臨地実習	公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ，公衆栄養学実習
臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ	臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ，臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ

（８）留学生科目

次の日本語・日本事情科目は留学生だけが受講できる科目であり、学修状況に合わせて計画的に開設しています。これらの授業科目は学則第41条により共通教育科目（比治山ベーシック科目内のコミュニケーションリテラシー「日本語」および「外国語」あるいは教養教育科目）の単位に代えることができます。詳しくはチューターまたは教務課に確認してください。

授業科目	開講 セメスター	単位数		授業科目	開講 セメスター	単位数	
		必修	選択			必修	選択
日本語ⅠA	1		1	日本語ⅡC	2		1
日本語ⅠB	1		1	日本語ⅡD	2		1
日本語ⅠC	1		1	日本事情ⅠA	1		2
日本語ⅠD	1		1	日本事情ⅠB	1		2
日本語ⅡA	2		1	日本事情ⅡA	2		2
日本語ⅡB	2		1	日本事情ⅡB	2		2
計							16

（９）副専攻

現代文化学部では、副専攻で体系的に他学科等の授業科目を履修し幅広い知識と教養を身に付けることができます。詳しい内容や履修の時期については、副専攻の説明で確認をしてください。副専攻の種類は、次のとおりです。

副専攻	開設学科	受講対象者
国際コミュニケーション副専攻	言語文化学科（国際コミュニケーションコース）	言語文化学科（国際コミュニケーションコース）以外の現代文化学部生

- 副専攻の申請は、履修登録時に行います。申請できる副専攻は、所属する学科・コース以外が提供する副専攻です。
- 副専攻を修了した学生には、副専攻修了証を授与します。申請手続きについては、掲示等で連絡します。申請手数料200円を添えて手続きしてください。ただし、卒業要件を満たしていない学生は、修了認定の対象とはなりません。

※申請手数料は2025年1月現在の金額です。都合により変動の可能性があります。掲示または配付物等で確認してください。

【国際コミュニケーション副専攻】

① プログラムの目的・特徴

英語のコミュニケーションスキルを磨いていき、比較文化や異文化理解を通して多文化の視点を養っていきます。グローバルとローカルとを合わせたグローカルという視点に立ち、自ら英語で発信できる力を引き出します。

② 履修についてのアドバイス

英語による基礎的なコミュニケーションスキルを習得するために、英会話Ⅰ・ⅡやBasic Communication SkillsⅠ・Ⅱを履修します。基礎的なスキルを学んだあと、英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで発展的なスキルを習得していきます。実際に学んだコミュニケーションスキルを実践するために、異文化間コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲを履修してみてもいいでしょう。さらに英語による応用的なコミュニケーションスキル習得に挑戦したい人は、Presentation SkillsやCritical Thinking and Discussionを履修し、プレゼンテーション力や自己省察力を高めることができます。またFunctional Expressionsを通して、英語による情報発信力を養うことも可能です。

国際コミュニケーションコースの副専攻は、英語による情報発信力の養成を中心に科目が配置されています。自分の意見を異文化の人に伝えたいと思う人はぜひ履修してみてください。

系列	授業科目	授業方法	単位数	開講時期								要件
				1 年		2 年		3 年		4 年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
基礎科目	英会話Ⅰ	演習	1	○								
	英会話Ⅱ	演習	1		○							
英語コミュニケーション	Basic Communication SkillsⅠ	演習	2	○								
	Basic Communication SkillsⅡ	演習	2		○							
	英語コミュニケーションⅠ	演習	2			○						
	英語コミュニケーションⅡ	演習	2				○					
	英語コミュニケーションⅢ	演習	2					○				
	英語コミュニケーションⅣ	演習	2						○			
	検定英語	演習	2			○						
	Presentation Skills	演習	2					○				
	Critical Thinking and Discussion	演習	2						○			
	Functional Expressions	演習	2						○			
海外実習	異文化間コミュニケーションⅠ	演習	2	*								
	異文化間コミュニケーションⅡ	演習	2	*								
	異文化間コミュニケーションⅢ	演習	4	*								

(10) 教育プログラム
比治山大学・
比治山大学短期大学部
数理・データサイエンス・AI
教育プログラム

① 教育プログラムの目的

数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な知識及び技術を偏りなく体系的に修得することにより、社会におけるデータ・AI活用に関する知識やデータを適切に読み解く能力を高めるとともに、利活用の楽しさや学が意義を把握し、自分の生活に積極的に取り入れようとする態度の向上を期待します。

② 修了要件

「共通教育科目」の「情報リテラシー」(1単位)、「データサイエンス入門」(2単位)、合計3単位を修得すること。

③ 教育プログラム修了証の交付

希望する学生には教育プログラム修了証を交付します。

(11) 免許・資格
に関する
教育課程表

教職課程に
関連する科目

対象学科：言語文化学科，管理栄養学科

<2025年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業すべき時間数	単位数		開講時期								中学校教諭一種国語	高等学校教諭一種国語	中学校教諭一種英語	高等学校教諭一種英語	栄養教諭一種	提供科目	
						1年次		2年次		3年次		4年次								
				必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後							
教職課程に関連する科目	教育基礎論	講義	30		2		○							○	○	○	○	○	☆	
	教職入門	講義	30		2	○								○	○	○	○	○	☆	
	教育の制度と経営	講義	30		2				○					○	○	○	○	○	☆	
	教育心理学	講義	30		2					○				○	○	○	○	○	☆	
	特別支援教育論	講義	15		1			○						○	○	○	○	○	☆	
	教育課程総論	講義	15		1			○						○	○	○	○	○	☆	
	道德教育の理論と方法	講義	30		2						○			○	○	○	○	○	☆	
	総合的な学習の時間の指導法	講義	15		1					○				○	○	○	○	○	☆	
	特別活動の指導法	講義	15		1					○				○	○	○	○	○	☆	
	教育の方法と技術	講義	15		1					○				○	○	○	○	○	☆	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	講義	15		1					○				○	○	○	○	○	☆	
	生徒・進路指導論	講義	30		2					○				○	○	○	○	○	☆	
	教育相談(カウンセリングを含む。)	講義	30		2			○						○	○	○	○	○	☆	
	教育実習指導	講義	30		1						○			○	○	○	○	/	☆	
	教育実習Ⅰ	実習	90		2								○	○	○	○	○	/	☆	
	教育実習Ⅱ	実習	90		2								○	○	○	○	○	/	☆	
	教職実践演習(中・高)	演習	30		2								○	○	○	○	○	/	☆	
	介護等体験指導	演習	15		1						○			○	/	○	/	/	☆	
	学校支援ボランティア	実習	30		1	○								○	○	○	○	/	☆	
	学校栄養教育指導論	講義	30		2						○				/	/	/	/	○	/
	学校栄養教育実践論	講義	30		2							○			/	/	/	/	○	/
	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	実習	90		2								○		/	/	/	/	○	/
	教職実践演習(栄養教諭)	演習	30		2								○		/	/	/	/	○	/

(備考) ○印は教職必修科目 ○印は選択科目

教職課程に関連する科目は、学科の専門教育科目以外の教職課程の科目を示す。

学校図書館司書 教諭資格科目

対象学科：言語文化学科，子ども発達教育学科

<2025年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業時間数	単位数		開講時期								提供科目
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次		
						前	後	前	後	前	後	前	後	
学校図書館司書 教諭資格科目	学校経営と学校図書館	講義	30		2			○						☆
	学校図書館メディアの構成	講義	30		2				○					☆
	学習指導と学校図書館	講義	30		2					○				☆
	読書と豊かな人間性	講義	30		2						○			☆
	情報メディアの活用	講義	30		2							○		☆

小学校・中学校・高等学校教諭の免許状取得希望者のみ履修が可能です。
資格取得には、小学校・中学校・高等学校教諭の免許状の取得が必要です。

学芸員資格科目

対象学科：言語文化学科，マスコミュニケーション学科

<2025年度入学生>

科目区分	授業科目	授業方法	授業時間数	単位数		開講時期								提供科目
						1年次		2年次		3年次		4年次		
				必修	選択	前	後	前	後	前	後	前	後	
学芸員資格科目	生涯学習概論	講義	30		2					○				☆
	博物館概論	講義	30		2			○						☆
	博物館経営論	講義	30		2					○				☆
	博物館資料論	講義	30		2				○					☆
	博物館資料保存論	講義	30		2				○					☆
	博物館展示論	講義	30		2				○					☆
	博物館教育論	講義	30		2					○				☆
	博物館情報・メディア論	講義	30		2			○						☆
	博物館実習Ⅰ	実習	45		1						(○)			☆
	博物館実習Ⅱ	実習	90		2							(○)		☆

「博物館実習Ⅰ」，「博物館実習Ⅱ」を履修するためには，「生涯学習概論」，「博物館概論」，「博物館経営論」，「博物館資料論」，「博物館資料保存論」，「博物館展示論」，「博物館教育論」，「博物館情報・メディア論」の単位をすべて修得または履修中であることが必要です。

4 免許・資格について

(1) 比治山大学で 取得できる 免許・資格

本学においては、次のような免許・資格等が取得できます。詳しい内容については、それぞれ該当の箇所をよく読んで履修してください。

各学科・コースで取得できる免許・資格等は次のとおりです。

免許・資格等	学科	言語文化学科		マスコミュ ニケーション 学科	社会臨床 心理学科	子ども 発達 教育学科	管理 栄養 学科
		日本語文 化コース	国際コミュ ニケーション コース				
中学校教諭一種免許状(国語)		○					
高等学校教諭一種免許状(国語)		○					
中学校教諭一種免許状(英語)			○				
高等学校教諭一種免許状(英語)			○				
幼稚園教諭一種免許状						○	
小学校教諭一種免許状						○	
栄養教諭一種免許状							○
学校図書館司書教諭資格		○	○			○	
学芸員資格		○	○	○			
日本心理学会認定心理士資格					○		
日本心理学会認定心理士(心理調査)					○		
公認心理師受験資格					○		
保育士資格(保育士証)						○	
管理栄養士国家試験受験資格							○
栄養士免許証							○
フードサイエンティスト							○

免許・資格等取得に関わる費用

免許・資格等	実習・その他	申請費用
中学校教諭一種免許状(国語)	29,750円※	3,400円
高等学校教諭一種免許状(国語)	3,500円※	3,400円
中学校教諭一種免許状(英語)	29,750円※	3,400円
高等学校教諭一種免許状(英語)	3,500円※	3,400円
幼稚園教諭一種免許状	13,300円	3,400円
小学校教諭一種免許状	24,250円	3,400円
栄養教諭一種免許状	8,500円	3,400円
学校図書館司書教諭資格	—	—
学芸員資格	3,000円	200円
日本心理学会認定心理士資格	—	41,000円※
日本心理学会認定心理士(心理調査)	—	31,000円※
公認心理師受験資格	学科からお知らせします	—
保育士資格(保育士証)	37,550円	4,200円
管理栄養士国家試験受験資格	学科からお知らせします	6,800円
栄養士免許証	学科からお知らせします	5,600円
フードサイエンティスト	—	5,000円

※実習校により実習費は変動します。

※日本心理学会認定心理士資格と日本心理学会認定心理士(心理調査)を同時申請する場合、51,500円となります。

上記は、2025年1月現在の金額です。それぞれの協会等の都合により変動の可能性があります。掲示または配付物等で確認してください。

(2) 教育職員
免許状の
取得について

「比治山大学教職課程に関する規程」に基づき、本学で取得できる教育職員免許状および免許教科の種類は、次のとおりです。

免許状の種類	免許教科	免許状授与の所要資格を取得させるための課程を置く学部・学科・コース
中学校教諭一種免許状	国語	現代文化学部 言語文化学科日本語文化コース
高等学校教諭一種免許状	国語	
中学校教諭一種免許状	英語	現代文化学部 言語文化学科国際コミュニケーションコース
高等学校教諭一種免許状	英語	
幼稚園教諭一種免許状		現代文化学部 子ども発達教育学科
小学校教諭一種免許状		
栄養教諭一種免許状		健康栄養学部 管理栄養学科

① 中学校・高等学校教諭
一種免許状
(国語) (英語)

言語文化学科 日本語文化コース(中・高等学校教諭一種免許状(国語))

言語文化学科 国際コミュニケーションコース(中・高等学校教諭一種免許状(英語))

免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格および単位修得が条件となります。

免許状の種類	基礎資格	現代文化学部において修得することを必要とする授業科目の単位数	
		共通教育科目	教科及び教職に関する科目
中学校教諭一種免許状(国語)	学士の学位を有すること	10	59
高等学校教諭一種免許状(国語)			59
中学校教諭一種免許状(英語)			60
高等学校教諭一種免許状(英語)			59

中学校教諭一種免許状の取得希望者は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の「介護等体験」を行わなければなりません。

共通教育科目
及び単位数

免許法施行規則に 定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講 セメスター
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	1
体育	2	○スポーツ	1	1
		○ウエルネス論	2	2
外国語 コミュニ ケーション	2	英語リテラシー	2	1
		英語Ⅰ	2	2
		英語Ⅱ	1	3
		英語Ⅲ	1	4
		英会話Ⅰ	1	1
		英会話Ⅱ	1	2
		中国語Ⅰ	1	1
		中国語Ⅱ	1	2
		韓国語Ⅰ	1	1
		韓国語Ⅱ	1	2
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目	2	○情報リテラシー	1	1
		○データサイエンス入門	2	2
		最低修得単位数	10	

(備考)○印は教職必修科目

言語文化学科 日本語文化コース(中・高等学校教諭一種免許状(国語))

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
					必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	各科目1単位以上	日本語学入門		2	1	○は、一般的包括的内容を含む科目
				日本語学概論　○	2		2	
				日本語研究A		2	3	
				日本語研究B		2	4	
				日本語史		2	5	
				日本語表現法A	2		3	
				日本語表現法B		2	4	
				日本語表現研究		2	6	
		日本語学演習		2		5		
		日本文学入門			2	1		
		日本文学概論　○		2		2		
		日本文学研究A			2	3		
		日本文学研究B			2	3		
		日本文学研究C			2	4		
	日本文学研究D		2	4				
	日本文学史　○	2		5				
	日本文学講読A		2	1				
	日本文学講読B		2	2				
	日本文学演習	2		5				
	漢文学	漢文学　○	2		5	中一種免のみ開設し、必修		
書道A　○			2		3			
書道(書写を中心とする。)	書道B	2		4				
		国語科教育法Ⅰ	2		3			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中8高4	国語科教育法Ⅱ	2		4			
		国語科教育法Ⅲ	2		5			
		国語科教育法Ⅳ	2		6			
		中一種免　計			28	教科に関する専門的事項の選択科目から2単位選択必修		
高一種免　計			24					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		5		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1		3		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		3		

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
				必	選		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法	2		6	中一種免のみ必修 ただし、高一種免取得希望者が修得した場合は、大学が独自に設定する科目に必要な単位として算入する
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		5	上段は中一種免、 下段は高一種免
	総合的な探究の時間の指導法						
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		5	
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		5	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		5	
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		5	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—	—	
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導	1		6	中一種免のみ必修
			教育実習Ⅰ	2		7・8	
			教育実習Ⅱ		2	7・8	
	学校体験活動	—	—	—	—		
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2		8	
中一種免 計		27	中一種免 必要単位数		27		
高一種免 計		23	高一種免 必要単位数		23		
大学が独自に設定する科目	—	中4 高12	介護等体験指導 学校支援ボランティア	1		5・6 1～8	中一種免のみ開設し、必修
							大学が独自に設定する科目として算入できる単位 中一種免 ①28単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②大学が独自に設定する科目 ①②の中から4単位以上とする 高一種免 ①24単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から12単位以上とする
中一種免 総計		59	中一種免 必要単位数		59		
高一種免 総計		59	高一種免 必要単位数		59		

言語文化学科 国際コミュニケーションコース(中・高等学校教諭一種免許状(英語))

施行規則に定める科目区分等				現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講セメ スター	履修方法等
					必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的 事項	英語学	各科目1単位以上	英語学概論　○	2		2	○は、一般的包括 的内容を含む科目
				英語の歴史　○	2		4	
		対照言語学			2	4		
		英語文学		米文学概論　○	2		2	
				英文学概論　○	2		2	
		英語コミュニケーション		英語コミュニケーションⅠ　○	2		3	
				英語コミュニケーションⅡ		2	4	
				Presentation Skills		2	5	
				Basic Communication SkillsⅠ　○	2		1	
				異文化理解	日英比較文化　○	2		
		異文化理解実践研究　○			2		5	
		異文化間コミュニケーションⅠ				2	1・2	
		異文化間コミュニケーションⅡ				2	1・2	
	異文化間コミュニケーションⅢ				4	1・2		
	異文化間コミュニケーションⅣ				6	3・4		
	各教科の指導法(情報 通信技術の活用を含む。)	中8 高4	英語科教育法Ⅰ	2		3		
			英語科教育法Ⅱ	2		4		
			英語科教育法Ⅲ	2		5		
			英語科教育法Ⅳ	2		6		
			第二言語習得概論		2	4		
中一種免　計			28	中一種免 必要単位数		30		
高一種免　計			24	高一種免 必要単位数		30		
教育の基礎的 理解に関する科目	教育の理念並びに教育 に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2		
	教職の意義及び教員の 役割・職務内容(チーム 学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1		
	教育に関する社会的、 制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携 及び学校安全への対応 を含む。)		教育の制度と経営	2		4		
	幼児、児童及び生徒の 心身の発達及び学習の 過程		教育心理学	2		5		
	特別の支援を必要とする 幼児、児童及び生徒 に対する理解		特別支援教育論	1		3		
	教育課程の意義及び編 成の方法(カリキュラ ム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		3		

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等	
				必	選			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法	2		6	中一種免のみ必修 ただし、高一種免取得希望者が修得した場合は、大学が独自に設定する科目に必要な単位として算入する	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		5		上段は中一種免、 下段は高一種免
	総合的な探究の時間の指導法							
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		5	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む	
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		5		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		5		
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		5		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2		3		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—	—		
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導	1		6	中一種免のみ必修	
			教育実習Ⅰ	2		7・8		
			教育実習Ⅱ		2	7・8		
	学校体験活動	—	—	—				
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2		8		
中一種免 計		27	中一種免 必要単位数		27			
高一種免 計		23	高一種免 必要単位数		23			
大学が独自に設定する科目	—	中4 高12	英語教授法	2		7	中一種免のみ開設し、必修	
			介護等体験指導	1		5・6		
			学校支援ボランティア		1	1～8		
						大学が独自に設定する科目として算入できる単位 中一種免 ①28単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②大学が独自に設定する科目 ①②の中から4単位以上とする 高一種免 ①24単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②23単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から12単位以上とする		
中一種免 総計		59	中一種免 必要単位数		60			
高一種免 総計		59	高一種免 必要単位数		59			

教科及び教職に関する科目についての履修条件は以下の通りです。

(1) 各教科教育法の履修条件について

- ① 各教科教育法Ⅱは、各教科教育法Ⅰの単位の修得が必要です。
- ② 各教科教育法Ⅲは、各教科教育法Ⅱの単位の修得が必要です。
- ③ 各教科教育法Ⅳは、各教科教育法Ⅲの単位の修得が必要です。

(2) 「教育実習指導」, 「教育実習Ⅰ」, 「教育実習Ⅱ」の履修条件について

- ① 「教育実習指導」の履修は、国語は「教職入門」, 「教育基礎論」, 「教育相談(カウンセリングを含む)」, 「国語科教育法Ⅲ」, 英語は「教職入門」, 「教育基礎論」, 「英語科教育法Ⅲ」のすべての単位の修得が必要です。
- ② 「教育実習Ⅰ」, 「教育実習Ⅱ」の履修は、「教育実習指導」の単位修得と、国語は「国語科教育法Ⅳ」, 英語は「英語科教育法Ⅳ」の単位修得が必要です。

(3) 「教職実践演習(中・高)」の履修条件について

- ① 「教育実習Ⅰ」, 「教育実習Ⅱ」(高等学校教諭一種免許状のみ取得者にあつては「教育実習Ⅰ」)の単位を修得、または修得見込みであること(過年度生も同様)。
- ② 教科及び教職に関する科目のうち、「教職実践演習(中・高)」を除くすべての当該免許状取得に必要な単位を修得していること、または履修中であること。
- ③ 国語は「国語科教育法Ⅳ」, 英語は「英語科教育法Ⅳ」の単位を修得していること。
- ④ 履修カルテに、4年間通して入力していること。

(4) 履修カルテについて

- ① 教員免許状取得に必要です。
- ② 履修カルテに入力し、4年間を通して作成してください。

(5) その他

編入生については、所属学科より別途履修指導を行います。

② 幼稚園・小学校
教諭一種免許状

子ども発達教育学科(幼稚園教諭一種免許状, 小学校教諭一種免許状)

免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格および単位修得が条件となります。

免許状の種類	所要資格	基礎資格	現代文化学部において 修得することを必要とする 授業科目の単位数	
			共通教育科目	教科及び教職に 関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の 学位を 有する こと	10	51(※)	59
小学校教諭一種免許状				

※ただし、教育実習Ⅰ(小学校)、教育実習Ⅱ(小学校)を修得する場合は53単位。

小学校教諭一種免許状の取得希望者は、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間、合計7日間の「介護等体験」を行わなければなりません。保育士資格の取得希望者で「保育実習Ⅰ(保育所・施設)」を履修し、施設実習を行った場合、「社会福祉施設での5日間の介護等体験」に充当することができます。小学校教諭一種免許状申請の際は、実習施設での証明書が必要となります。

実習する施設および申請に必要な証明書については、保育実習の前に担当者から説明があります。

共通教育科目
及び単位数

免許法施行規則に 定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講 セメスター
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○日本国憲法	2	4
体育	2	○スポーツ	1	2
		○ウエルネス論	2	4
外国語 コミュニ ケーション	2	英語リテラシー	2	1
		英語Ⅰ	2	2
		英語Ⅱ	1	3
		英語Ⅲ	1	4
		英会話Ⅰ	1	1
		英会話Ⅱ	1	2
		中国語Ⅰ	1	1
		中国語Ⅱ	1	2
		韓国語Ⅰ	1	1
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目	2	○情報リテラシー	1	1
		○データサイエンス入門	2	2
		最低修得単位数	10	

(備考) ○印は教職必修科目

教科及び教職に関する科目及び単位数

子ども発達教育学科(幼稚園教諭一種免許状)

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		最低修得単位数	授業科目	単位数		開講セメスター	履修方法等
					必	選		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	16	保育内容(健康)	2		2	
		人間関係		保育内容(人間関係)	2		5	
		環境		保育内容(環境)	2		5	
		言葉		保育内容(言葉)	2		4	
		表現		保育内容(表現)	2		3	
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			保育指導法(健康)	2		3	
				保育指導法(人間関係)	2		6	
				保育指導法(環境)	2		6	
				保育指導法(言葉)	2		5	
				保育指導法(表現Ⅰ)	2		4	
				保育指導法(表現Ⅱ)	2		5	
計		16	必要単位数		22			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		保育者論	2		1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		4		
			保育の心理学		2	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		6		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		幼児教育課程論	2		4		
			保育内容総論	2		1		
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育の方法と技術	1		4		
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		4		
	幼児理解の理論及び方法		子ども理解の理論と方法	2		3		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		子どもの発達と教育相談	2		5		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4	a又はbを選択必修 b	
			a 教育実習Ⅰ(小学校)		2	6		
			a 教育実習Ⅱ(小学校)		2	6		
			教育実習Ⅲ(幼稚園)	2		5		
			b 教育実習Ⅳ(幼稚園)		2	7		
学校体験活動		—	—	—				
教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2		8			
計		21	必要単位数		27			

a
a又はbを選択必修
b

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数 必 選	開講セメスター	履修方法等
大学が独自に設定する科目	—	14				大学が独自に設定する科目として算入できる単位 ①16単位を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」 ②21単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ①②の中から14単位以上とする
総計		51	必要単位数	51		

「教育実習Ⅲ（幼稚園）」および「教育実習Ⅳ（幼稚園）」の履修登録を行う（実習に参加する）ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅲ（幼稚園）」の履修資格

①「保育者論」および「教育実習指導」の単位修得が必要条件です。

②「保育内容総論」、「子ども理解の理論と方法」、「幼児教育課程論」の単位修得、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであることが必要条件です。

「教育実習Ⅳ（幼稚園）」の履修資格

「教育実習指導」および「保育内容総論」、「子ども理解の理論と方法」、「幼児教育課程論」、「保育実践研究」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅰ（小学校）」および「教育実習Ⅱ（小学校）」の履修登録を行う（実習に参加する）ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅰ（小学校）」および「教育実習Ⅱ（小学校）」の履修資格

「教職入門」、「教育実習指導」、「教育心理学」、「教育の方法と技術」、「国語Ⅰ」、「社会Ⅰ」、「算数Ⅰ」、「理科Ⅰ」、「生活Ⅰ」、「国語科教育法」、「算数科教育法」、「音楽科教育法」、「社会科教育法」、「図画工作科教育法」、「家庭科教育法」、「生活科教育法」、「体育科教育法」、「理科教育法」、「初等英語科教育法」、「教科授業研究A」、「教科授業研究B」、「教科授業研究C」の単位修得が必要条件です。

「保育・教職実践演習（幼・小）」の履修登録を行うための条件について

- ①「保育・教職実践演習（幼・小）」を除くすべての当該免許状取得に必要な単位を修得していること、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであること。
- ② 4年間を通して履修カルテに入力し、作成すること。

子ども発達教育学科(小学校教諭一種免許状)

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数					
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項		最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講セメ スター	履修方法等
					必	選		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	30	国語Ⅰ	2		1	
				国語Ⅱ		2	3	
		社会		社会Ⅰ	2		2	
				社会Ⅱ		2	3	
		算数		算数Ⅰ	2		2	
				算数Ⅱ		2	3	
		理科		理科Ⅰ	2		2	
				理科Ⅱ		2	3	
				理科実験		1	4	
		生活		生活Ⅰ		2	1	
				生活Ⅱ		2	3	
	音楽	音楽Ⅰ			1	1		
		音楽Ⅱ			1	2		
	図画工作	図画工作Ⅰ			1	3		
		図画工作Ⅱ			1	4		
	家庭	家庭			2	3		
	体育	体育Ⅰ			1	1		
		体育Ⅱ			1	2		
	外国語	初等英語Ⅰ		2		3		
		初等英語Ⅱ			2	4		
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語 (書写を含む。)		国語科教育法	2		3	
		社会		社会科教育法	2		4	
		算数		算数科教育法	2		3	
		理科		理科教育法	2		5	
		生活		生活科教育法	2		5	
音楽		音楽科教育法	2		3			
図画工作		図画工作科教育法	2		4			
家庭		家庭科教育法	2		4			
体育		体育科教育法	2		5			
外国語		初等英語科教育法	2		5			
計		30	必要単位数		30			

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数		履修方法等
				必	選	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育基礎論	2		2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2		1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2		4
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 保育の心理学	2	2	4 2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		6
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1		5
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と方法	2		4
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1		5
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	1		5
	教育の方法及び技術		教育の方法と技術	1		4
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1		4
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		6
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		子どもの発達と教育相談	2		5
教育実践に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		—	—	—	—
	教育実習	5	教育実習指導	1		3・4
			教育実習Ⅰ(小学校)	2		6
			教育実習Ⅱ(小学校)	2		6
			教育実習Ⅲ(幼稚園)		2	5
			教育実習Ⅳ(幼稚園)		2	7
	学校体験活動		—	—	—	—
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2		8
計		27	必要単位数	28		

進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む

施行規則に定める科目区分等			現代文化学部における授業科目及び単位数				
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数		開講セメ スター	履修方法等
				必	選		
大学が独自に設定する科目	—	2	現代教育政策概論		2	6	大学が独自に設定する科目として算入できる単位
			学校支援ボランティア		1	1～8	
							①30単位を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」 ②27単位を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」から「教育実践に関する科目」 ③大学が独自に設定する科目 ①②③の中から2単位以上とする
総計		59	必要単位数		59		

「教育実習Ⅰ（小学校）」および「教育実習Ⅱ（小学校）」の履修登録を行う（実習に参加する）ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅰ（小学校）」および「教育実習Ⅱ（小学校）」の履修資格

「教職入門」、「教育実習指導」、「教育心理学」、「教育の方法と技術」、「国語Ⅰ」、「社会Ⅰ」、「算数Ⅰ」、「理科Ⅰ」、「生活Ⅰ」、「国語科教育法」、「算数科教育法」、「音楽科教育法」、「社会科教育法」、「図画工作科教育法」、「家庭科教育法」、「生活科教育法」、「体育科教育法」、「理科教育法」、「初等英語科教育法」、「教科授業研究A」、「教科授業研究B」、「教科授業研究C」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅲ（幼稚園）」および「教育実習Ⅳ（幼稚園）」の履修登録を行う（実習に参加する）ための条件について

「教育実習指導」の履修資格

「教職入門」または「保育者論」のいずれかの単位修得が必要条件です。「教育基礎論」の単位修得が必要条件です。

「教育実習Ⅲ（幼稚園）」の履修資格

- ①「保育者論」および「教育実習指導」の単位修得が必要条件です。
- ②「保育内容総論」、「子ども理解の理論と方法」、「幼児教育課程論」の単位修得、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであることが必要条件です。

「教育実習Ⅳ（幼稚園）」の履修資格

「教育実習指導」および「保育内容総論」、「子ども理解の理論と方法」、「幼児教育課程論」、「保育実践研究」の単位修得が必要条件です。

「保育・教職実践演習（幼・小）」の履修登録を行うための条件について

- ①「保育・教職実践演習（幼・小）」を除くすべての当該免許状取得に必要な単位を修得していること、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであること。
- ② 4年間を通して履修カルテに入力し、作成すること。

③ 栄養教諭
一種免許状

健康栄養学部 管理栄養学科(栄養教諭一種免許状)

栄養教諭は、子どもの望ましい食習慣の形成を促すために、「食に関する指導」と「学校給食の管理」を一体的に行い、クラス担任・教科担当の先生と連携して「学校における食育」を職務とします。

免許状授与の所要資格を得るためには、次表に掲げる基礎資格および単位修得が条件となります。

免許状の種類	基礎資格	健康栄養学部において修得することを必要とする授業科目の単位数	
		共通教育科目	栄養に係る教育に関する科目及び教職に関する科目
栄養教諭一種免許状	学士の学位を有すること、かつ管理栄養士の免許を受けていること又は管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること	10	28

共通教育科目
及び単位数

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	本学における開講科目		開講 セメスター
		授業科目	単位数	
日本国憲法	2	○ 日本国憲法	2	4
体育	2	○ スポーツ	1	1
		○ ウエルネス論	2	1
外国語 コミュニケーション	2	英語リテラシー	2	1
		英語Ⅰ	2	2
		英語Ⅱ	1	3
		英語Ⅲ	1	4
		英会話Ⅰ	1	1
		英会話Ⅱ	1	2
		中国語Ⅰ	1	1
		中国語Ⅱ	1	2
		韓国語Ⅰ	1	1
		韓国語Ⅱ	1	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2	○情報リテラシー	1	1
		○データサイエンス入門	2	2
		最低修得単位数	10	

(備考) ○印は教職必修科目

栄養に係る教育に関する科目及び教職に関する科目及び単位数

健康栄養学部 管理栄養学科(栄養教諭一種免許状)

施行規則に定める科目区分等			健康栄養学部における授業科目及び単位数			
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数 必 選	開講セメスター	履修方法等
栄養に係る教育に関する科目	栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	学校栄養教育指導論	2	5	
	幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項					
	食生活に関する歴史的及び文化的事項		学校栄養教育実践論	2	6	
	食に関する指導の方法に関する事項					
計		4	必要単位数	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育基礎論	2	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2	1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育の制度と経営	2	4	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	5	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	3	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程総論	1	3	
生徒指導・総合的な学習の時間等に関する科目及び	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育の理論と方法	2	6	
			総合的な学習の時間の指導法	1	5	
			特別活動の指導法	1	5	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	1	5	
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1	5	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論	2	5	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談(カウンセリングを含む。)	2	3	
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	2	7・8	
	教職実践演習	2	教職実践演習(栄養教諭)	2	8	
計		18	必要単位数	24		
総計		22	必要単位数	28		

「栄養教育実習(事前事後指導を含む。)」の履修について

次に掲げる要件を満たす者に限り、「栄養教育実習(事前事後指導を含む。)」を受講できます。その審査は「栄養教育実習委員会」が行います。

- ① 将来栄養教諭の職に就こうとする意欲や希望を有すること。
- ② 栄養教育実習の心得や栄養教諭業務等を学び、さらに事前準備や事後学習することにより栄養教育学習の成果を上げるため、7セメスターまでの管理栄養士の資格科目、教職科目(栄養教諭)並びに管理栄養士に係る共通教育科目の単位を修得している、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであること。
- ③ 成績評価において、5セメスターまでに開講する「栄養教諭養成領域」科目は原則として全て「良」以上であること。

栄養教育実習の実習期間は1週間です。なお、栄養教諭一種免許状を取得するには、臨地実習の実習期間4週間と合わせて5週間となります。

「教職実践演習(栄養教諭)」の履修について

「教職実践演習(栄養教諭)」の履修は、「栄養教育実習(事前事後指導を含む。)」の単位修得見込みであること、および栄養に係る教育及び教職に関する科目のうち「教職実践演習(栄養教諭)」を除くすべての単位を修得または履修中であることを条件とします。各自、記録した「履修カルテ」がないと履修できません。

「履修カルテ」について

- 教員免許状取得に必要です。
- 4年間を通して履修カルテに入力し、作成してください。

(3) 履修カルテについて

教員免許を取得しようとする学生は、教職課程の科目履修を始めてから「教職実践演習」(最終セメスター)の授業を履修し、さらに、教員免許を取得するまで、各自「履修カルテ」を作成しなければなりません。「履修カルテ」とは、自分が教職課程の授業の中で、何を学んだか、振り返るとともに、教員の指導を受け、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるためのものです。

(4) 資格等の取得について

① 学校図書館司書教諭資格

言語文化学科、子ども発達教育学科

学校図書館司書教諭資格を取得しようとする者は、卒業の条件を充足し、教育職員免許状(小学校教諭一種・中学校教諭一種・高等学校教諭一種)取得のために必要な科目を履修し、所定の単位を修得するとともに、下記の学校図書館司書教諭講習規程第3条に規定する科目を履修し、所定の単位を修得しなければなりません。

3年次後期までに全ての単位を修得していない場合、卒業後の申請となります。詳細は4年次に説明します。

学校図書館司書教諭専門科目

学校図書館司書教諭講習規程に規定された科目及び最低修得単位数		現代文化学部における授業科目及び単位数		開講セメスター
科 目	最低修得単位数	授業科目	単位数	
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	2	3
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	4
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	5
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	6
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2	6

②学芸員資格

言語文化学科およびマスコミュニケーション学科の学生で、学芸員の資格を取得しようとする者は、下記に定める所定の単位を修得しなければなりません。

省令科目		単位数	本学開設科目	単位数	開講セメスター			備 考
					言語		マスコミ	
生涯学習概論		2	生涯学習概論	2	5			必修 19単位
博物館概論		2	博物館概論	2	3			
博物館経営論		2	博物館経営論	2	5			
博物館資料論		2	博物館資料論	2	4			
博物館資料保存論		2	博物館資料保存論	2	4			
博物館展示論		2	博物館展示論	2	4			
博物館教育論		2	博物館教育論	2	5			
博物館情報・メディア論		2	博物館情報・メディア論	2	3			
博物館実習		3	博物館実習Ⅰ	1	6・7			
			博物館実習Ⅱ	2	7・8			
その他 関連科目	文化史		日本文化史Ⅰ	2	1			日本文化史Ⅰ・Ⅱ又は欧米文化論・アジア文化論のいずれか4単位を選択必修
			日本文化史Ⅱ	2	2			
			欧米文化論	2	5			
			アジア文化論	2	5			
	考古学		日本考古学	2	4			2単位以上 選択必修
	民俗学		日本民俗学	2	5			
最低修得単位数				25単位				

(備考)「博物館実習Ⅰ」,「博物館実習Ⅱ」を履修するためには、その他関連科目以外の学芸員資格科目の単位すべてを修得または履修中であることが必要です。

③日本心理学会 認定心理士資格

社会臨床心理学科の学生で、日本心理学会認定心理士資格を取得しようとする者は、別表1の所定の単位を修得しなければなりません。また、日本心理学会認定心理士資格取得に加えて日本心理学会認定心理士(心理調査)資格を取得しようとする者は、別表1の他、別表2の所定の単位を修得しなければなりません。

別表1
日本心理学会認定
心理士資格

区分	開設授業科目	主題	単位数	認定 単位数	開講セメ スター	必要な認定単位数
基礎 科目	(a) 心理学概論	心理学概論	基本 2	2	1	(a) (c) は各 4 単位以上、 (b) (c) を合わせて 8 単位 以上含み、合計12単位以上 であること。
		臨床心理学概論	副次 2	1	2	
		感情・人格心理学	副次 2	1	1	
	(b) 心理学研究法	心理学研究法	基本 2	2	1	
		心理学統計法	基本 2	2	2	
目	(c) 心理学実験・実習	心理学実験	基本 4	4	2	
	小 計			12		
選 択 科 目	(d) 知覚心理学・学習心理学	知覚・認知心理学	基本 2	2	1	(d) ～ (h) から 5 領域のうち、 3 領域以上で各領域 4 単位以上を含み、合計16単 位以上であること。
		学習・言語心理学	基本 2	2	3	
	(e) 生理心理学・比較心理学	神経・生理心理学	基本 2	2	4	
	(f) 教育心理学・発達心理学	発達心理学	基本 2	2	1	
		生涯発達心理学	基本 2	2	7	
	(g) 臨床心理学・人格心理学	教育・学校心理学	基本 2	2	2	
		障害者・障害児心理学	基本 2	2	3	
		心理的アセスメント	基本 2	2	4	
		心理学的支援法	基本 2	2	3	
		援助コミュニケーション論	基本 2	2	1	
		コミュニティ心理学	基本 2	2	4	
		健康・医療心理学	基本 2	2	3	
		司法・犯罪心理学	基本 2	2	5	
		福祉心理学	基本 2	2	4	
	(h) 社会心理学・産業心理学	人体の構造と機能及び疾病	副次 2	1	5	
		精神疾患とその治療	副次 2	1	6	
		社会・集団・家族心理学	基本 2	2	2	
		グループ・ダイナミクス	基本 2	2	3	
(i) その他の科目		産業・組織心理学	基本 2	2	6	残り 8 単位は (a) ～ (h) の 任意の科目または (i) 「その 他の科目」で充当すること。
		社会臨床心理学	—	2	4	
		社会臨床心理学演習	—	2	5	
		知覚・認知心理学演習	—	2	6	
		社会・集団・家族心理学演習	—	2	6	
		教育・学校心理学演習	—	2	6	
		発達心理学演習	—	2	6	
		臨床心理学演習 A	—	2	6	
		臨床心理学演習 B	—	2	6	
		臨床心理学演習 C	—	2	6	
合 計				36		

別表2
日本心理学会認定
心理士(心理調査)

区分	開設授業科目	主題	単位数	認定 単位数	開講セメ スター	必要な認定単位数
心理調査概論・心理調査法	心理学研究法	基本	2	2	1	2単位以上
心理学統計	心理学統計法	基本	2	2	2	2単位以上
発展/展開研究(実習)	特別研究Ⅰ	—	2	2	7	6単位以上 ※この区分における単位の認 定には、各科目について、目 的、方法、結果、考察を含む 報告書の提出が必要となる。
	特別研究Ⅱ	—	2	2	8	
	卒業論文	—	4	2又は4	7・8	※卒業論文は連名の場合 2 単 位、単著の場合 4 単位での認 定となる。

4 公認心理師
受験資格

社会臨床心理学科の学生で、公認心理師受験資格を得ようとする者の大学における要件については、本学の定める卒業要件を満たし、かつ、下記に定める授業科目の所要単位数を修得しなければなりません。

公認心理師法施行規則で定められた必要な科目	本学における開設授業科目名等			
	科目名	単位数		開講セメスター
		必修	選択	
公認心理師の職責	公認心理師の職責	2		2
心理学概論	心理学概論	2		1
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2		2
心理学研究法	心理学研究法	2		1
心理学統計法	心理学統計法	2		2
心理学実験	心理学実験	4		2
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2		1
学習・言語心理学	学習・言語心理学	2		3
感情・人格心理学	感情・人格心理学	2		1
神経・生理心理学	神経・生理心理学	2		4
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	2		2
発達心理学	発達心理学	2		1
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2		3
心理的アセスメント	心理的アセスメント	2		4
心理学的支援法	心理学的支援法	2		3
健康・医療心理学	健康・医療心理学	2		3
福祉心理学	福祉心理学	2		4
教育・学校心理学	教育・学校心理学	2		2
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2		5
産業・組織心理学	産業・組織心理学	2		6
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2		5
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2		6
関係行政論	関係行政論	2		2
心理演習	心理演習	2		4
心理実習(実習の時間が80時間以上のものに限る。)	心理実習Ⅰ	2		5
	心理実習Ⅱ	2		6
合	計	54		

「心理実習Ⅰ」および「心理実習Ⅱ」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

心理実習Ⅰの履修資格

「公認心理師の職責」、「心理学概論」、「臨床心理学概論」、「心理学研究法」、「心理学統計法」、「心理学実験」、「知覚・認知心理学」、「学習・言語心理学」、「感情・人格心理学」、「神経・生理心理学」、「社会・集団・家族心理学」、「発達心理学」、「障害者・障害児心理学」、「心理的アセスメント」、「心理学的支援法」、「健康・医療心理学」、「福祉心理学」、「教育・学校心理学」、「関係行政論」、「心理演習」の単位修得が必要です。

心理実習Ⅱの履修資格

「心理実習Ⅰ」、「司法・犯罪心理学」、「人体の構造と機能及び疾病」の単位修得が必要です。

※編入生は別途学科の指示に従ってください。

⑤保育士資格
(保育士証)

子ども発達教育学科の学生で、保育士資格(保育士証)を取得するには、本学の定める卒業要件を満たし、かつ、児童福祉法施行規則に定める所定の単位を修得しなければなりません。

厚生労働省告示による教科科目等				本学における開講科目等					
系列	教科科目	授業形態	開設 単位数	授業科目	授業 形態	単位数		開講セメ スター	備考
						必修	選択		
教養科目	外国語, 体育以外の科目	不問	6以上	共通教育科目の下記の科目以外から6単位以上					卒業要件の24単位以上
	外国語	演習	2以上	共通教育科目・比治山ベーシック・コミュニケーションリテラシー・外国語(演習)の中から2単位以上					
	体育	講義	1	ウエルネス論	講義	2		4	
		実技	1	スポーツ	実技	1		2	
	教養科目 計		10以上						
必修科目(厚生労働省告示別表1による教科科目)	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2	2	必修64単位
		教育原理	講義	2	教育基礎論	講義	2	2	
		子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2	2	
		社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2	5	
		子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2	4	
		社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2	1	
		保育者論	講義	2	保育者論	講義	2	1	
				計14		計14			
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2	2	
		子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2	5	
		子どもの理解と援助	演習	1	子ども理解の理論と方法	演習	2	3	
		子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2	3	
		子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2	3	
				計9		計10			
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	幼児教育課程論	講義	2	4	
		保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2	1	
		保育内容演習	演習	5	保育指導法(健康)	演習	2	3	
					保育指導法(人間関係)	演習	2	6	
					保育指導法(環境)	演習	2	6	
					保育指導法(言葉)	演習	2	5	
					保育指導法(表現Ⅰ)	演習	2	4	
					保育指導法(表現Ⅱ)	演習	2	5	
		保育内容の理解と方法	演習	4	保育内容の理解と方法Ⅰ	演習	2	5	
					保育内容の理解と方法Ⅱ	演習	2	6	
		乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2	4	
		乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	2	6	
		子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	2	3	
		障害児保育	演習	2	障がい児保育	演習	2	3	
		社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	2	4	
		子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	2	6	
				計20		計32			
	保育実習	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2	3・4	
		保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ(保育所・施設)	実習	4	3・4	
	総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	演習	2	8	
	必修科目 計			51	必修科目 計			64	

厚生労働省告示による教科科目等				本学における開講科目等					
系列	教科科目	授業形態	開設単位数	授業科目	授業形態	単位数		開講セメスター	備考
						必修	選択		
選択必修科目 (厚生労働省告示別表2による教科科目)	保育の本質・目的に関する科目		15 以上	現代社会と子ども	講義		2	1	6単位以上修得
	保育の対象の理解に関する科目			教育心理学	講義		2	4	
				子どもの発達と教育相談	講義		2	5	
	保育の内容・方法に関する科目			保育内容(健康)	講義		2	2	
				保育内容(人間関係)	講義		2	5	
				保育内容(環境)	講義		2	5	
				保育内容(言葉)	講義		2	4	
				保育内容(表現)	講義		2	3	
	保育実習		3 以上	保育実習指導Ⅱ	演習		1	5	いずれか一方 選択必修
				保育実習Ⅱ(保育所)	実習		2	5	
				保育実習指導Ⅲ	演習		1	5	
				保育実習Ⅲ(施設)	実習		2	5	
	選択必修科目 計			18 以上	選択必修科目 計			9 以上	
合計			79 以上	合計			97 以上		

「保育実習Ⅰ(保育所・施設)」,「保育実習Ⅱ(保育所)」および「保育実習Ⅲ(施設)」の履修登録を行う(実習に参加する)ための条件について

「保育実習Ⅰ(保育所・施設)」の履修資格

「保育実習指導Ⅰ」の単位を修得していること、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであることが必要条件です。

「保育実習Ⅱ(保育所)」・「保育実習Ⅲ(施設)」の履修資格

- ①「保育者論」,「保育内容総論」,「社会的養護Ⅰ」,「教育基礎論」,「保育原理」,「子ども家庭福祉」,「保育の心理学」,「乳児保育Ⅰ」の単位修得が必要条件です。
- ②「保育実習指導Ⅱ」または「保育実習指導Ⅲ」の単位を修得していること、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであることが必要条件です。

「保育・教職実践演習(幼・小)」の履修登録を行うための条件について

厚生労働省告示による保育士資格に必要な教科科目のうち,「保育・教職実践演習(幼・小)」を除くすべての科目の単位を修得していること、もしくは履修登録をし、単位修得見込みであることを条件とします。

⑥管理栄養士
国家試験
受験資格

管理栄養学科の学生で、管理栄養士国家試験受験資格を取得しようとする者は、その基礎資格として本学を卒業見込みであることを要し、下記に定める所定の単位を修得しなければなりません。

管理栄養士学校指定規則別表第一で定められた教育内容及び単位数				本学における開設科目等			開講 セメ スター
教育内容		講義又は演習	実験又は実習	授業科目	講義又は演習	実験又は実習	
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	健康科学論	2		1
				健康心理学	2		2
				公衆衛生学	2		6
				栄養情報実習		1	2
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14		解剖生理学Ⅰ	2		3
				解剖生理学Ⅱ	2		4
				疾病論Ⅰ	2		5
				疾病論Ⅱ	2		6
				運動生理学	2		4
				運動生理学実験実習		1	6
				生化学	2		3
				栄養生化学	2		4
				生化学実験		1	5
	食べ物と健康	8		食品学	2		2
				基礎分析実験		1	1
				食品学実験		1	4
				食品加工学	2		4
				食品加工学実習		1	6
				食品衛生学	2		4
				食品衛生学実習		1	5
				調理学	2		1
				調理学実習Ⅰ		1	1
				調理学実習Ⅱ		1	2
				調理学実習Ⅲ		1	3
専門分野	基礎栄養学	2		1			
	応用栄養学	6	栄養学実験		1	2	
			応用栄養学	2		2	
			ライフステージ栄養学	2		3	
			ライフステージ栄養学実習		1	4	
	栄養教育論	6	スポーツ栄養学	2		5	
			栄養教育論Ⅰ	2		1	
			栄養教育論Ⅱ	2		2	
			カウンセリング論	2		3	
	臨床栄養学	8	栄養教育論実習		1	3	
			臨床栄養学Ⅰ	2		3	
			臨床栄養学Ⅱ	2		4	
			臨床栄養学Ⅲ	2		5	
			薬理学	2		6	
			臨床栄養学実習Ⅰ		1	4	
	公衆栄養学	4	臨床栄養学実習Ⅱ		1	5	
			公衆栄養学Ⅰ	2		5	
			公衆栄養学Ⅱ	2		6	
	給食経営管理論	4	公衆栄養学実習		1	6	
			給食経営管理論Ⅰ	2		3	
			給食経営管理論Ⅱ	2		4	
			給食経営管理実習Ⅰ		1	5	
	総合演習	2	給食経営管理実習Ⅱ		1	6	
			総合演習Ⅰ	1		5・6	
臨地実習		総合演習Ⅱ	1		7・8		
		給食経営管理臨地実習Ⅰ（給食の運営）		1	5・6		
		※給食経営管理臨地実習Ⅱ		※1	7・8		
		※公衆栄養学臨地実習		※1	7・8		
		臨床栄養学臨地実習Ⅰ		1	7・8		
		臨床栄養学臨地実習Ⅱ		1	7・8		
小計		60	22	小計		60	22
合計		82		合計		82	

注1) 管理栄養士国家試験受験資格取得条件として、共通教育科目資格関係科目の「ウェルネス論」および「スポーツ」、専門教育科目専門発展分野の「健康栄養総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の単位を修得すること。また、同分野の「健康栄養総合演習Ⅳ」を履修し、単位修得を目指すこと。

注2) ※から1単位以上を修得すること。

⑦ 栄養士免許証

管理栄養学科の学生で、栄養士免許証を取得しようとする者は、その基礎資格として本学を卒業見込みであることを要し、下記に定める科目を全て修得しなければなりません。

栄養士法施行規則別表第一で定められた教育内容及び単位数			本学開設の授業科目及び単位数			開講 セメ スター
教育内容	講義又は演習	実験又は実習	授業科目	講義又は演習	実験又は実習	
				必修	必修	
社会生活と健康	4	4	健康科学論	2		1
			公衆衛生学	2		6
人体の構造と機能	8		解剖生理学Ⅰ	2		3
			疾病論Ⅰ	2		5
			運動生理学	2		4
			生化学	2		3
食品と衛生	6		食品学	2		2
			基礎分析実験		1	1
			食品学実験		1	4
			食品加工学	2		4
			食品加工学実習		1	6
			食品衛生学	2		4
			食品衛生学実習		1	5
栄養と健康	8	10	基礎栄養学	2		1
			栄養学実験		1	2
			ライフステージ栄養学	2		3
			ライフステージ栄養学実習		1	4
			スポーツ栄養学	2		5
			臨床栄養学Ⅰ	2		3
			臨床栄養学実習Ⅰ		1	4
栄養の指導	6		栄養教育論Ⅰ	2		1
			栄養教育論Ⅱ	2		2
			栄養教育論実習		1	3
			公衆栄養学Ⅰ	2		5
給食の運営	4		調理学	2		1
			調理学実習Ⅰ		1	1
			調理学実習Ⅱ		1	2
			調理学実習Ⅲ		1	3
			給食経営管理論Ⅰ	2		3
			給食経営管理実習Ⅰ		1	5
			給食経営管理実習Ⅱ		1	6
			総合演習Ⅰ	1		5・6
			給食経営管理臨地実習Ⅰ（給食の運営）		1	5・6
小計	36	14	小計	37	14	
合計	50		合計	51		

注) 栄養士免許証取得条件として、共通教育科目教養科目の「ウエルネス論」および「スポーツ」の単位を修得すること。

⑧フードサイ エンティスト

管理栄養学科の学生で、フードサイエンティストの資格を取得しようとする者は、その基礎資格として本学を卒業見込みであることを要し、下記に定める科目をすべて修得し、食品科学教育協議会の「食品科学技術認定証」を取得しなければなりません。

食品科学教育協議会で定められた 教育内容および単位数				本学開設の授業科目及び単位数			開講 セメ スター	
教育内容		講義又 は演習	実験又 は実習	授業科目	講義又 は演習	実験又 は実習		
基礎必修科目	食品科学分野	4	2	食品学	2		2	
				暮らしの中の食品学	2		3	
				食品学実験		1	4	
				基礎分析実験		1	1	
	食品微生物科学分野	4	1	食品衛生学	2		4	
				食品衛生学実習		1	5	
				食品加工学 ※	2		4	
小 計		8	3	小 計		8	3	
特別研修	特別研修	4	5	栄養情報実習		1	2	
				生化学	2		3	
				栄養生化学	2		4	
				生化学実験		1	5	
				食品加工学実習		1	6	
				調理学実習Ⅰ		1	1	
				栄養学実験		1	2	
	小 計		4	5	小 計		4	5
合 計		12	8	合 計		12	8	
資格認定研修		講習会・研究会・講演会などに参加						

※食品加工学は、微生物学的内容を含む。